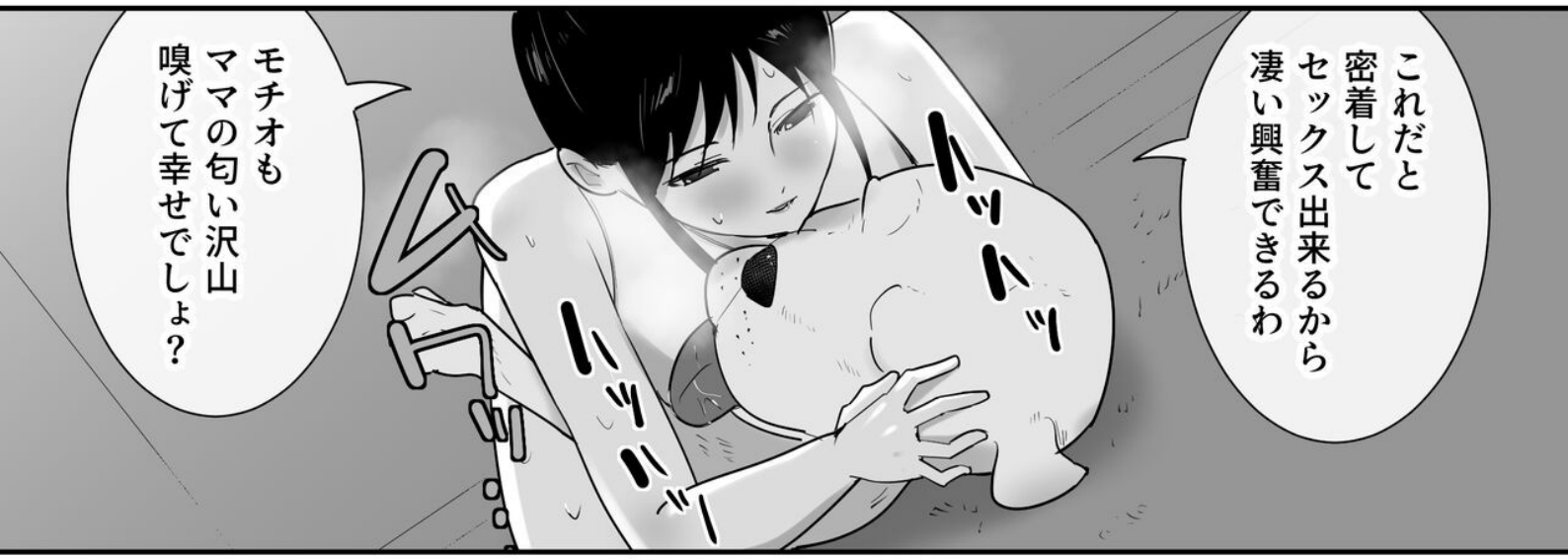
我が家に
ペットがやってきた
(終)

ミーン
ミンミン…
昼からは
雨に…
続いて
東北…
パチュン
パチュン
パチュン
ぶちゅ
ぶちゅ

もうモチオったら
朝から私を
誘ってくるなんて…
昨日も沢山愛し合ったのに
足りなかったの？
ん～♥
ちゅぴ
レロレロ
しょうがない子♥

モチオもこの体位に
馴れてきて
全然暴れなく
なってきたわね
ニチャッ…

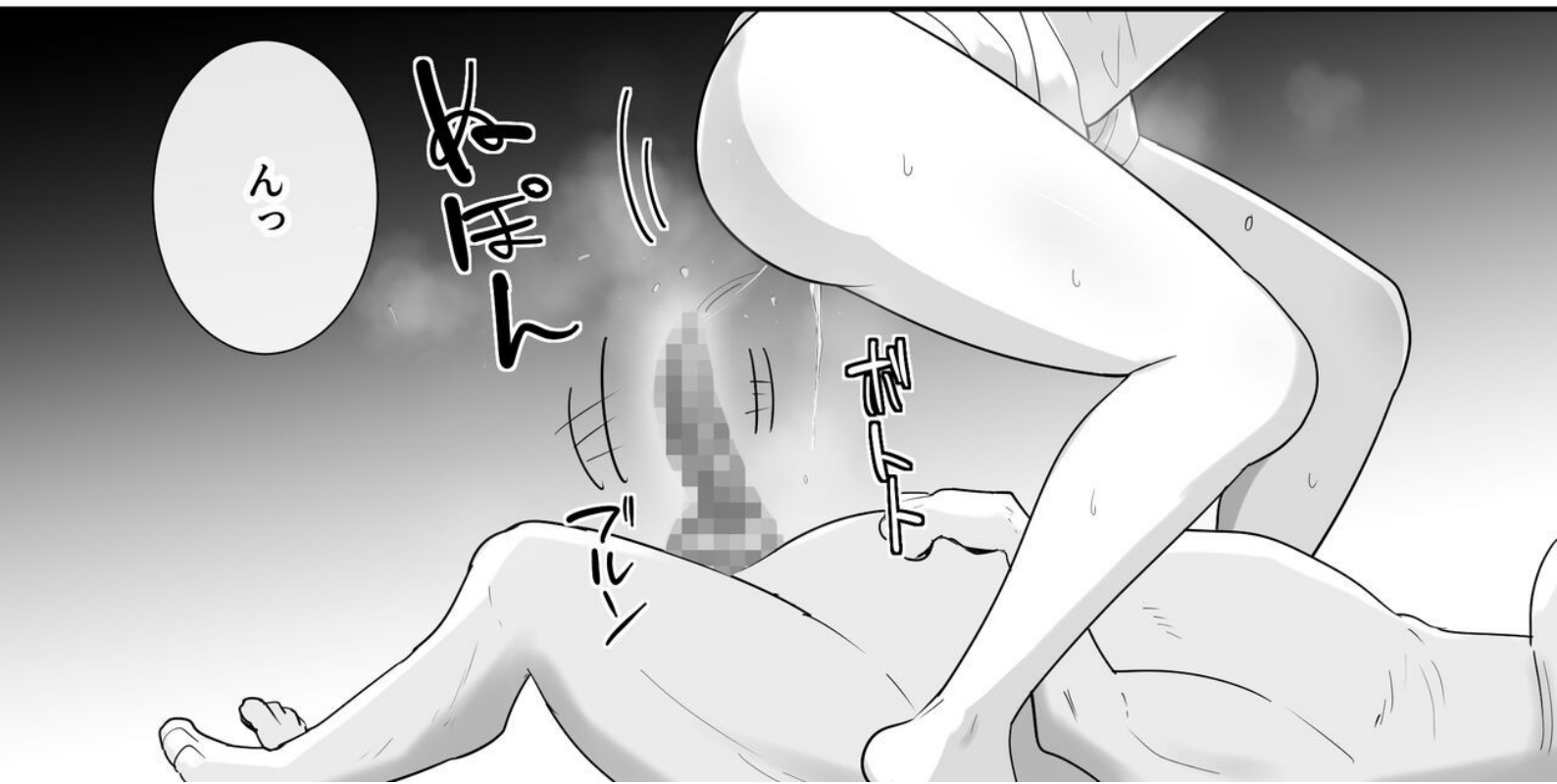

これだと
密着して
セックス出来るから
凄い興奮できるわ
ハッハッ
ハッハッ
モチオも
ママの匂い沢山
嗅げて幸せでしょ？

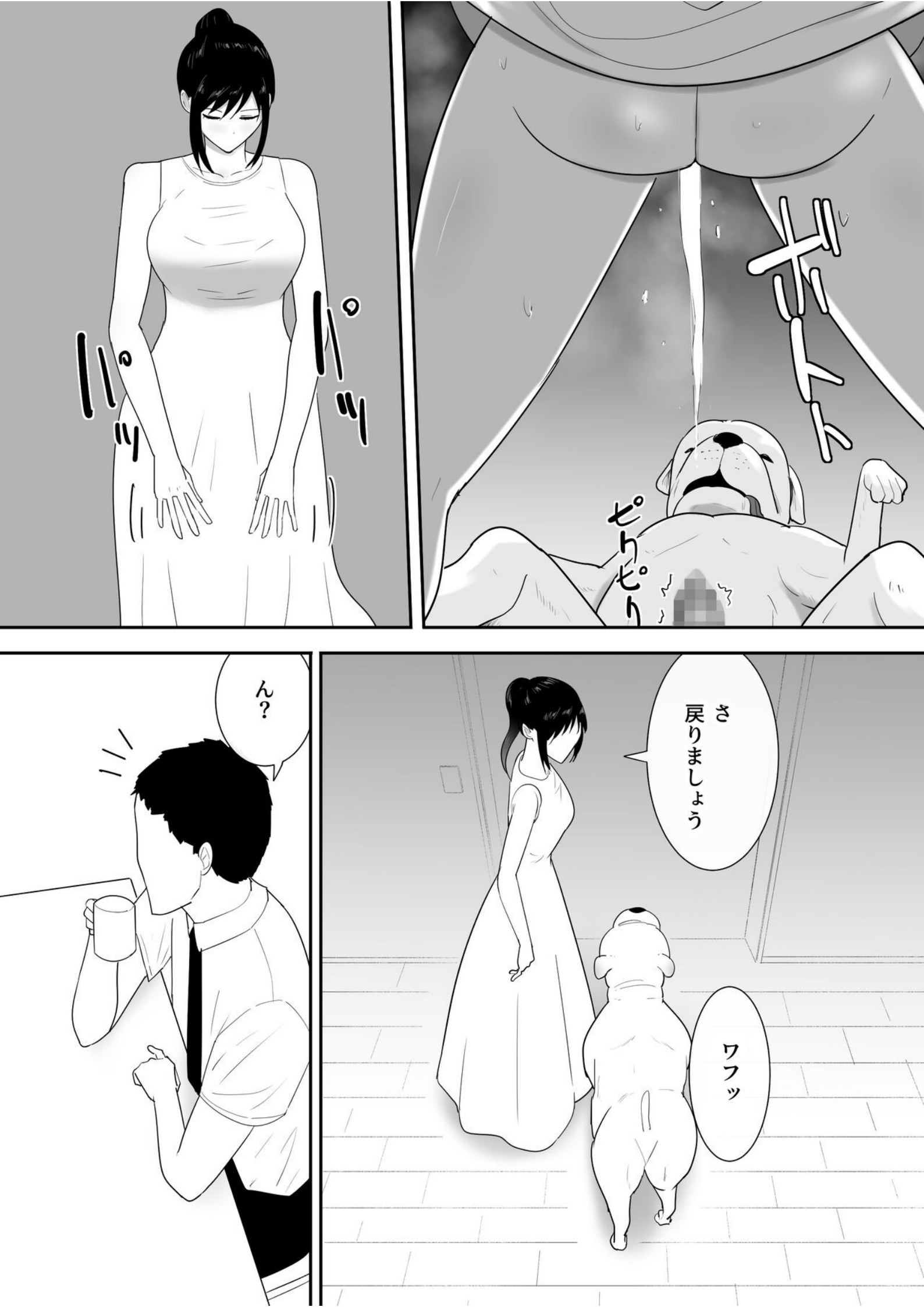
さぁ
早く終わらせるわよ
そろそろ終わらないと
あの人に不自然に思われるわ

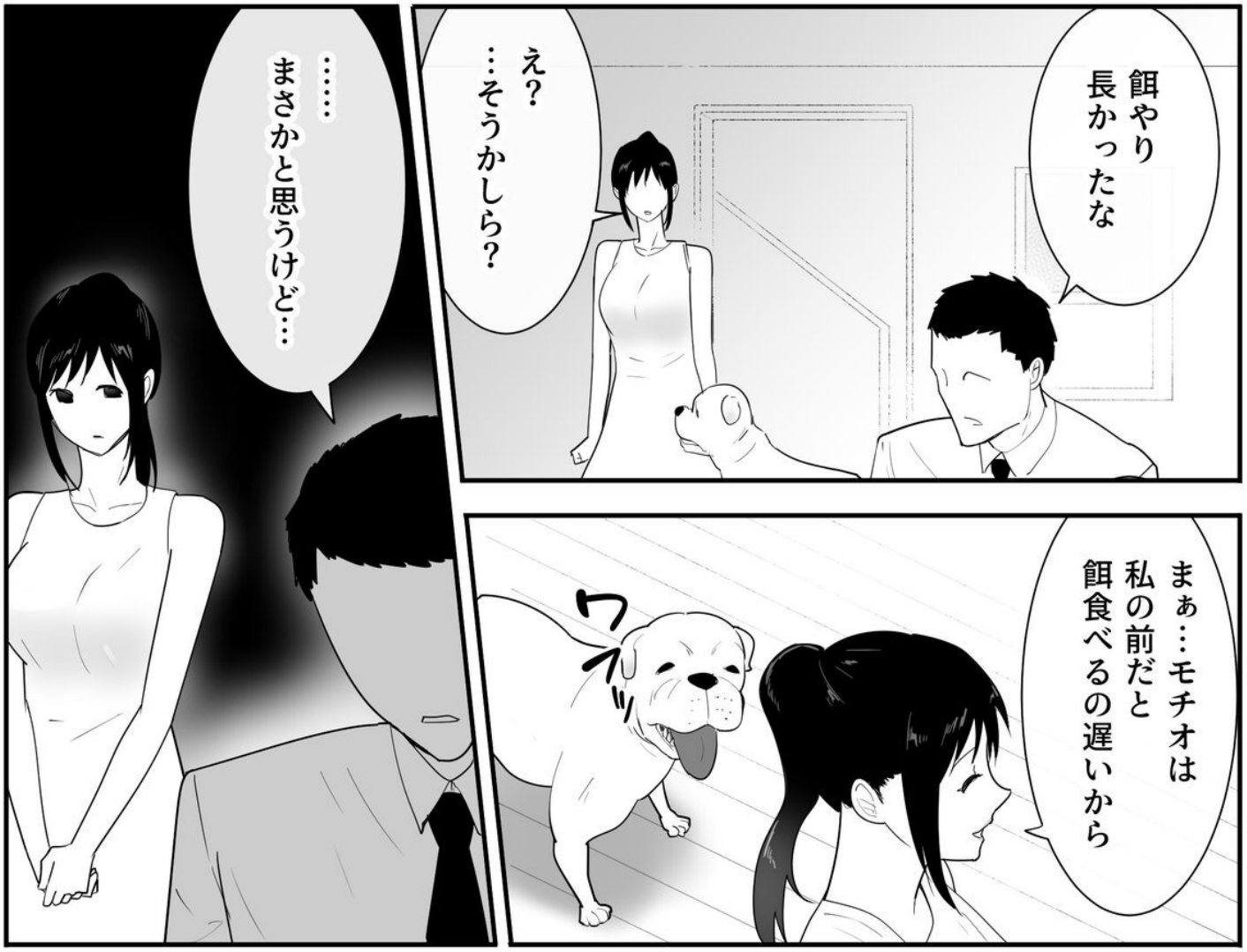
ピク
ヒキヒキ
コブが
膨らんできた…
ズッ
ズッ
あぁ…
ビュルルル

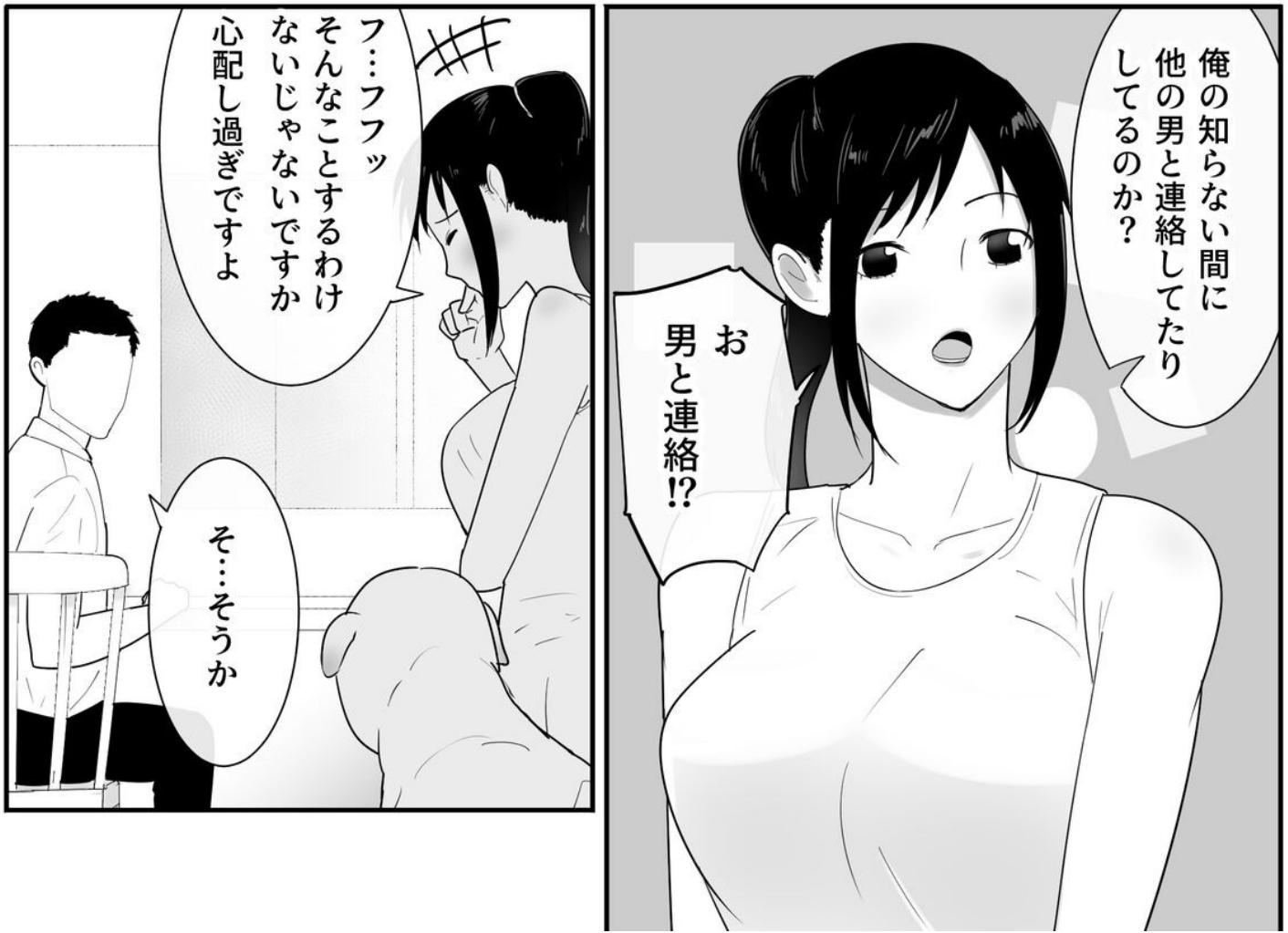
あぁ…
犬の精子が
私に入ってる…
はぁ♥
はぁ♥
ビュー
ビュー
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
キュン
キュン
私の子宮が喜んでる…!!
フフ…

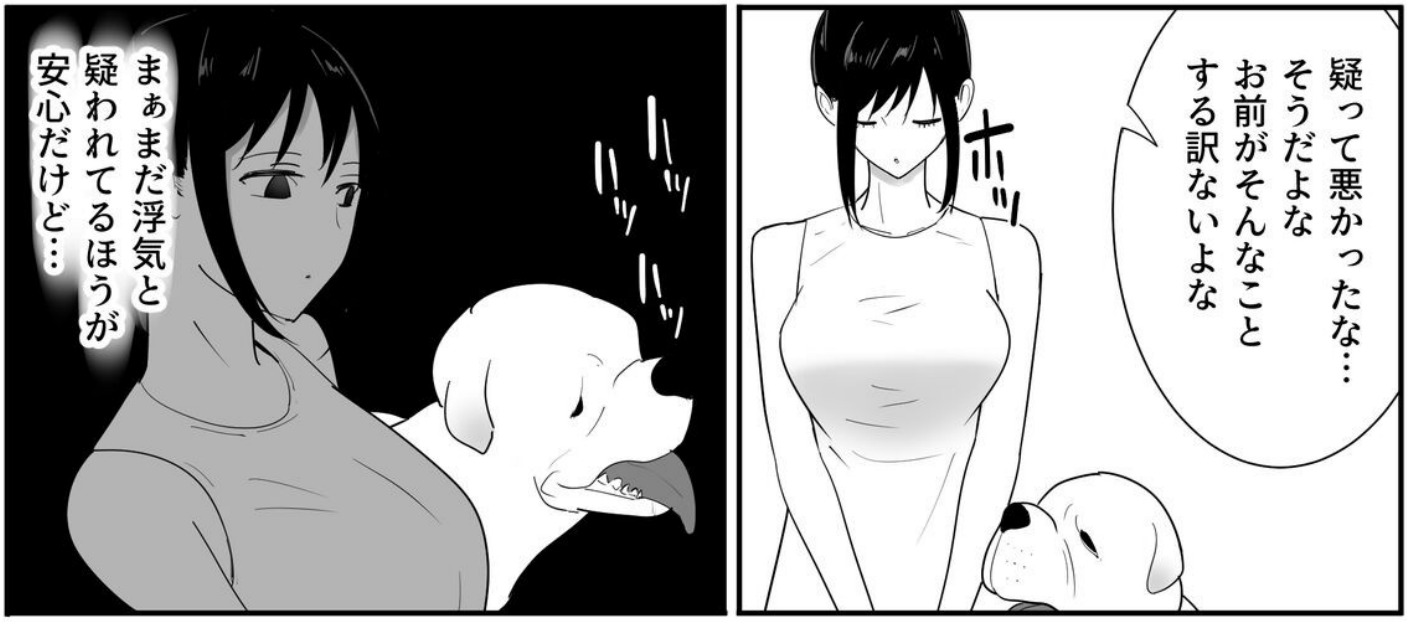
モチオの
体の鼓動と
私に叩き込まれる精子の鼓動が
連動してて可愛い♥
いつもこんな
ビクビクしながら
射精してたんだ…♥
トクン
トクン
ビク
ビク

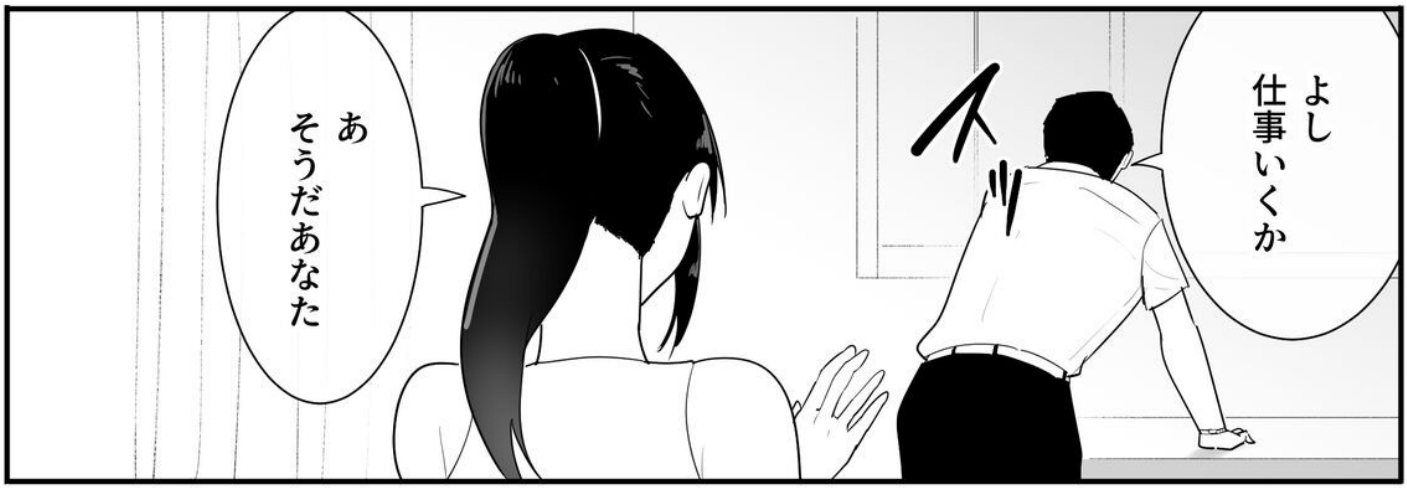

んっ
ぬぽん
ボトト
ブルン

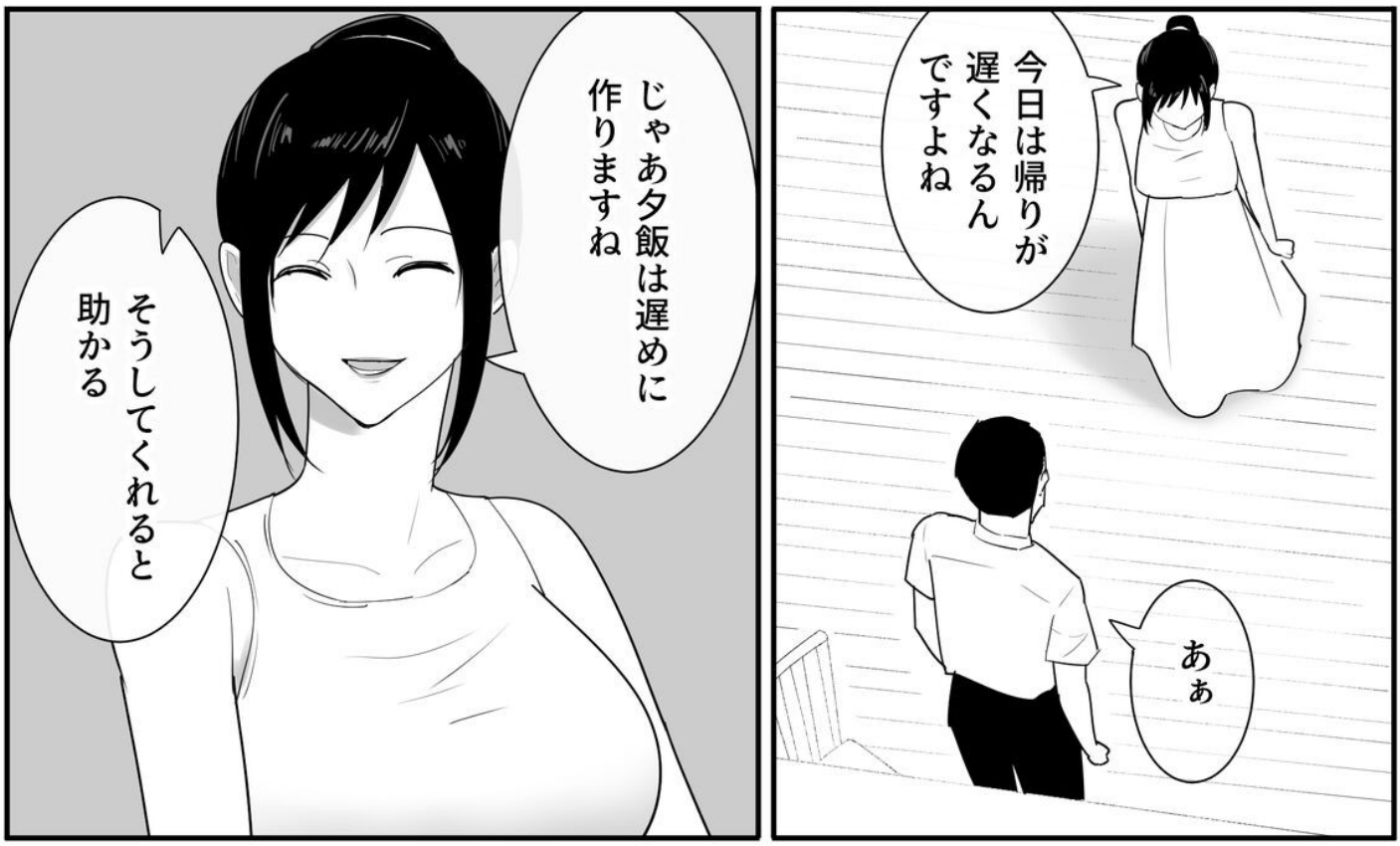

パッ
パッ
ピクピク
ピクピク
さ
戻りましょう
ワフッ
ん？


餌やり
長かったな
え？
…そうかしら？
まぁ…モチオは
私の前だと
餌食べるの遅いから
ワフッ
……
まさかと思うけど…


俺の知らない間に
他の男と連絡してたり
してるのか？
お
男と連絡!?
フ…フフッ
そんなことするわけ
ないじゃないですか
心配し過ぎですよ
そ…そうか


疑って悪かったな…
そうだよな
お前がそんなこと
する訳ないよな
ホッ
ハッ
ハッ
ハッ
まぁまだ浮気と
疑われてるほうが
安心だけど…


よし
仕事いくか
あ
そうだあなた


今日は帰りが
遅くなるん
ですよね
あぁ
じゃあ夕飯は遅めに
作りますね
そうしてくれると
助かる

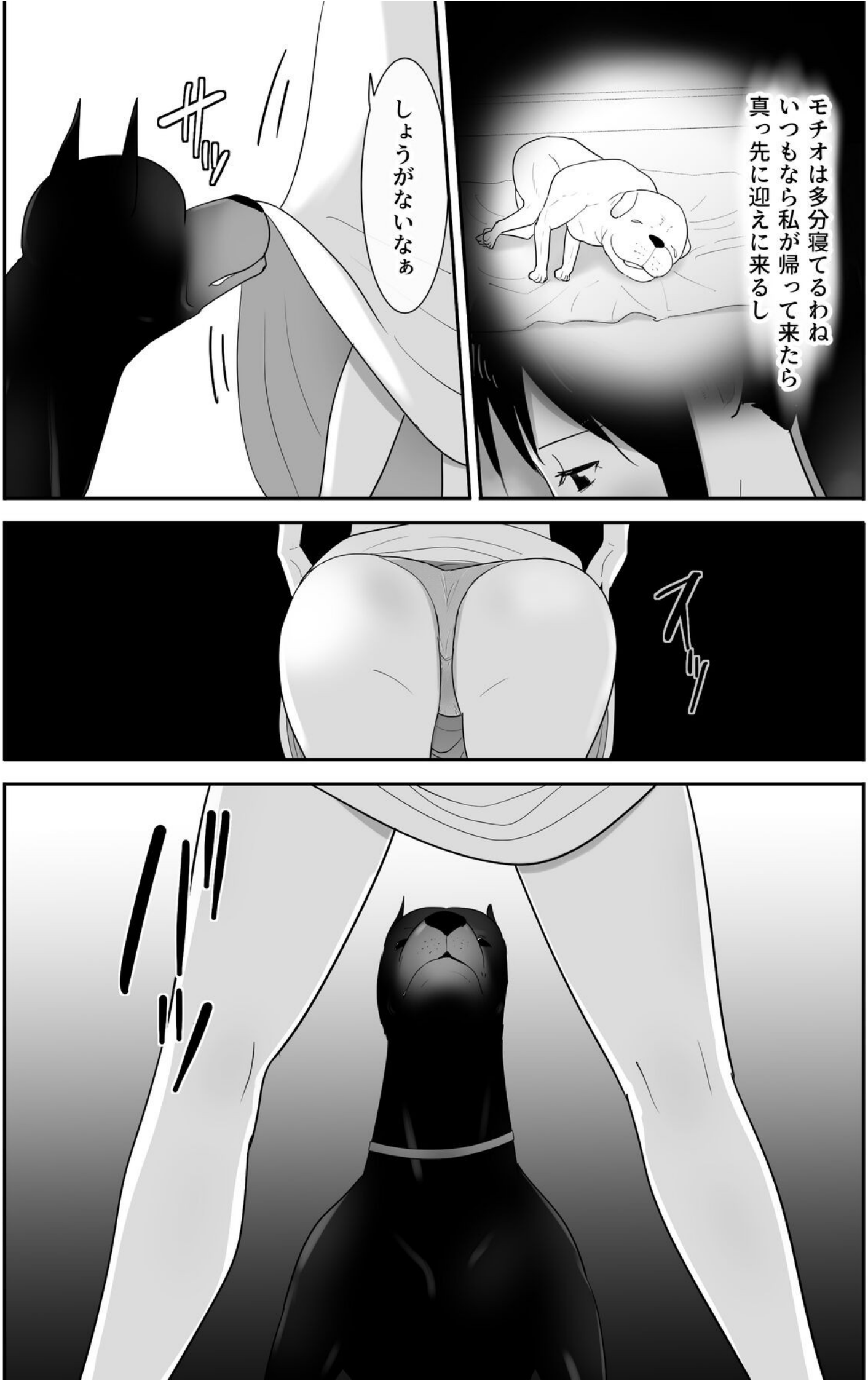
パタン
……
ワフッ
モチオ
ちょっと
お留守番してて
お友だち
連れてきてあげる
じゃあ鈴木さん達が
買い物行ってる間に
ドンちゃんは
私が預かっておくね
ごめんなさいね
夫とちょっと
遠出するだけなのに
気を使って貰って…

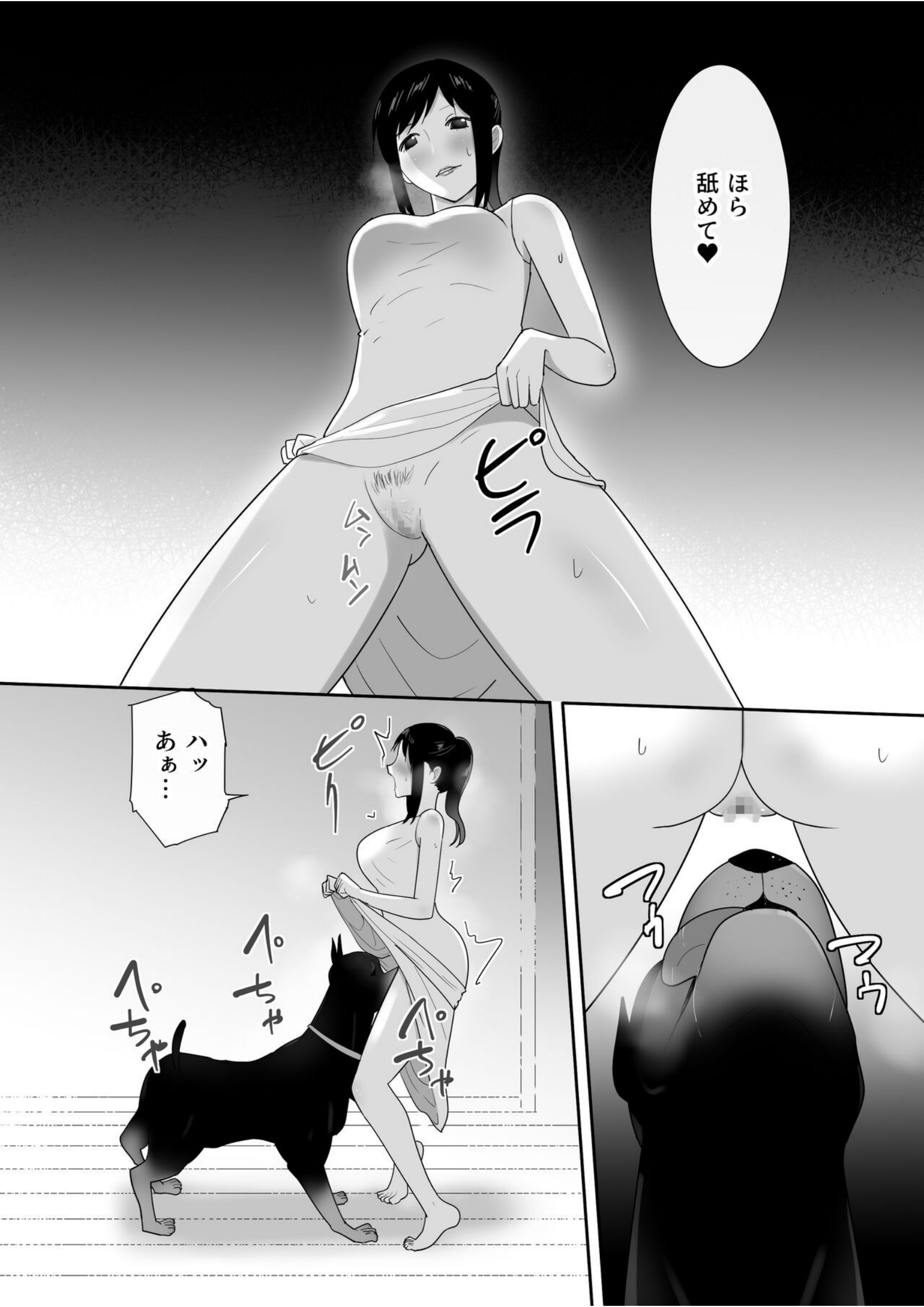
いいのよ
私ドンちゃん
好きだし
ドンも
詩子さんのことが
好きなのね
すごい興奮してる
フフ
私達仲良しだもんね♥
ドン
迷惑かけちゃダメよ
迷惑なんて
かけないよね
ドンちゃんいい子だし
ね

フン
フン
フン
フン

ちょっとどういうこと
ドンちゃん

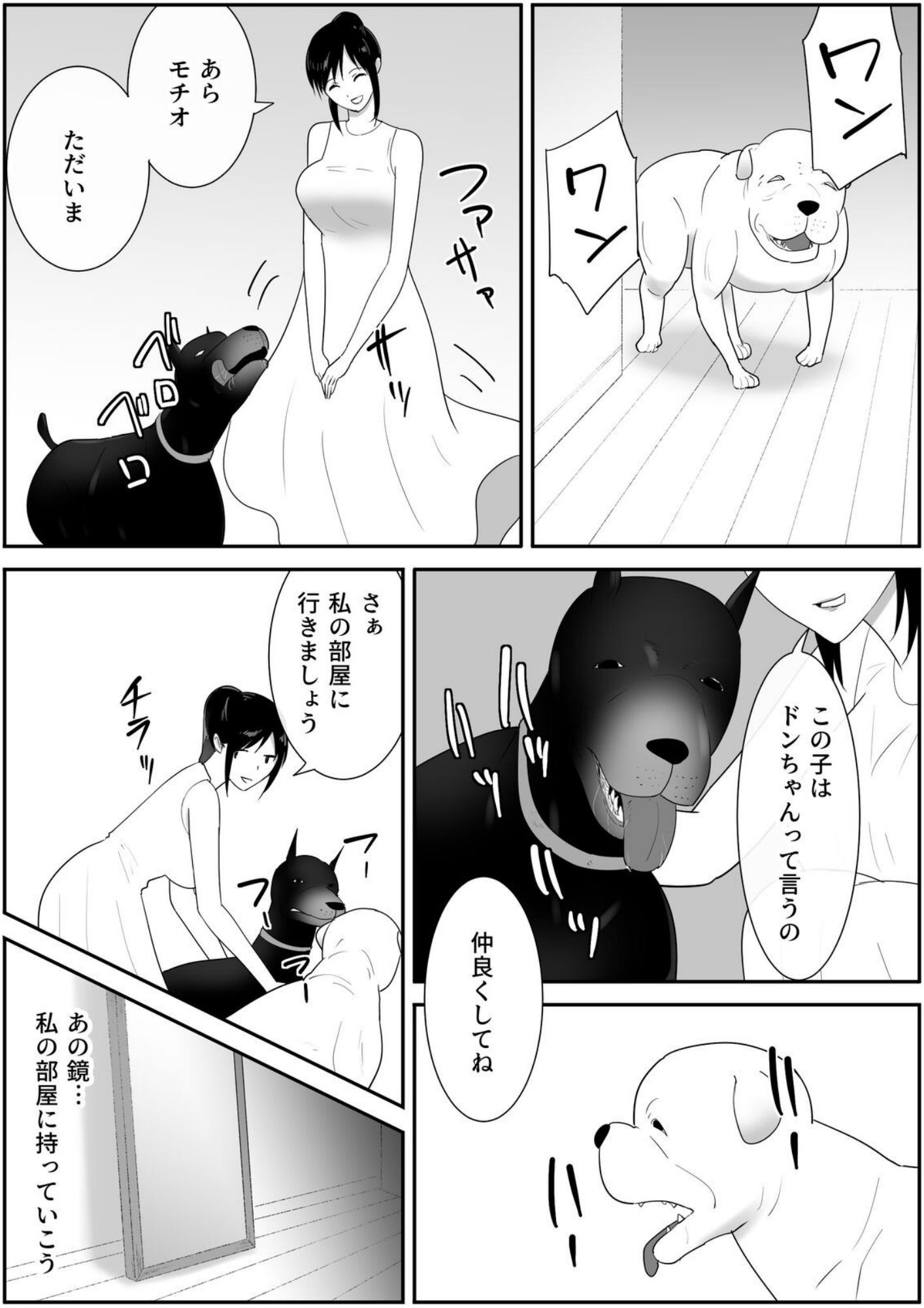
私の家に着いた途端
こんなことしだすなんて
この家を
ホテルか何かだと
思ってるのかしら
モゾモゾ
モゾモゾ


モチオは多分寝てるわね
いつもなら私が帰って来たら
真っ先に迎えに来るし
しょうがないなぁ


ほら
舐めて♥
ピク
ハッ
あぁ…
ペちゃ
ペちゃ
ペちゃ

炎天下でムレムレになった
マンコでも
お構いなしね
!!
そういえば
この前玄関に
鏡置いたんだっけ…
改めて見ると
私凄いこと
してるわね
でも何かしら
この胸がゾクゾクする感覚

はぁはぁ
ハフ
ハフ
ハフ
ハフ
ハフ
ハフ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ピチャ
ピチャ
ピチャ


ワン
ワン
あら
モチオ
ただいま
ファサァ
この子は
ドンちゃんって言うの
仲良くしてね
さぁ
私の部屋に
行きましょう
チラッ
フー
フー
あの鏡…
私の部屋に持っていこう

ガルルル…
ハッハッハッ

やっぱり初対面で仲良くできるわけないかぁ…
やってみたいことあるんだけどなぁ

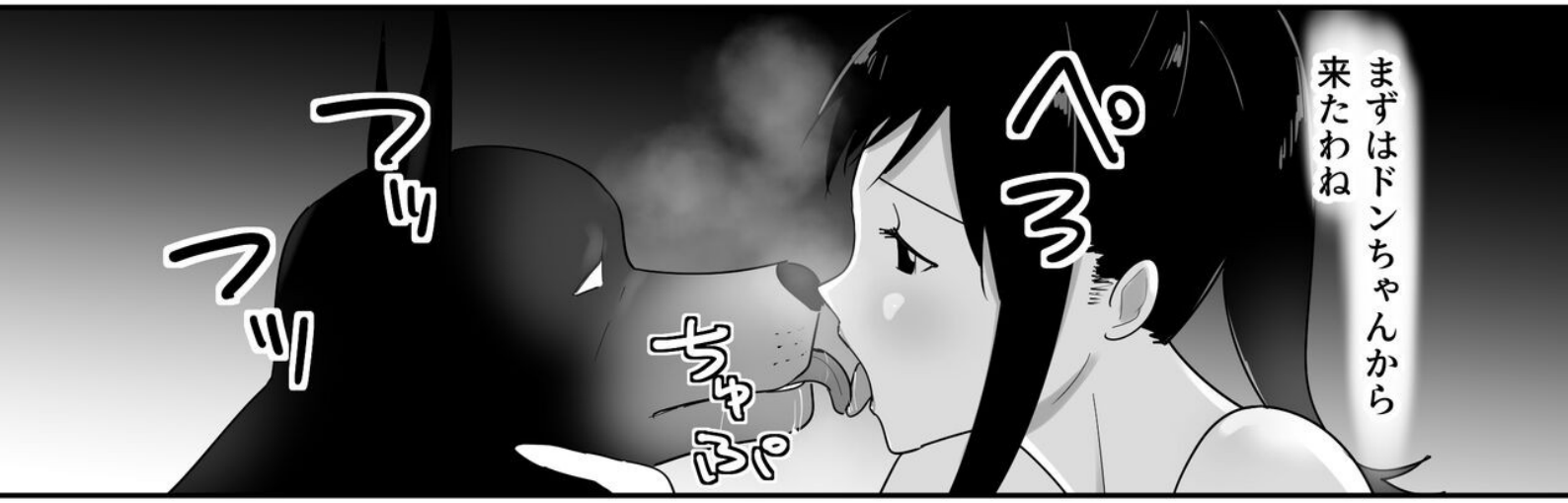
でもドンちゃん借りれる機会そんなに無いしなぁ
とりあえず強引に行ってみるか

ワンワン
ガルルル

ふたりとも
喧嘩しないで
これから一緒に
楽しいことしよ
ね？

私の裸見ただけで
すぐ脳が交尾で
いっぱいになっちゃう
オス犬が単純で
良かった
ハーハー
あっ
フフフ
オス犬のフェロモンが
匂ってきた…
ビクビク
ビクビク
やだ
犬のフェロモンに
私の体も反応してる
この二匹のこと
言えないぐらい
私も単純かも♥
パクパク

ぺろっ

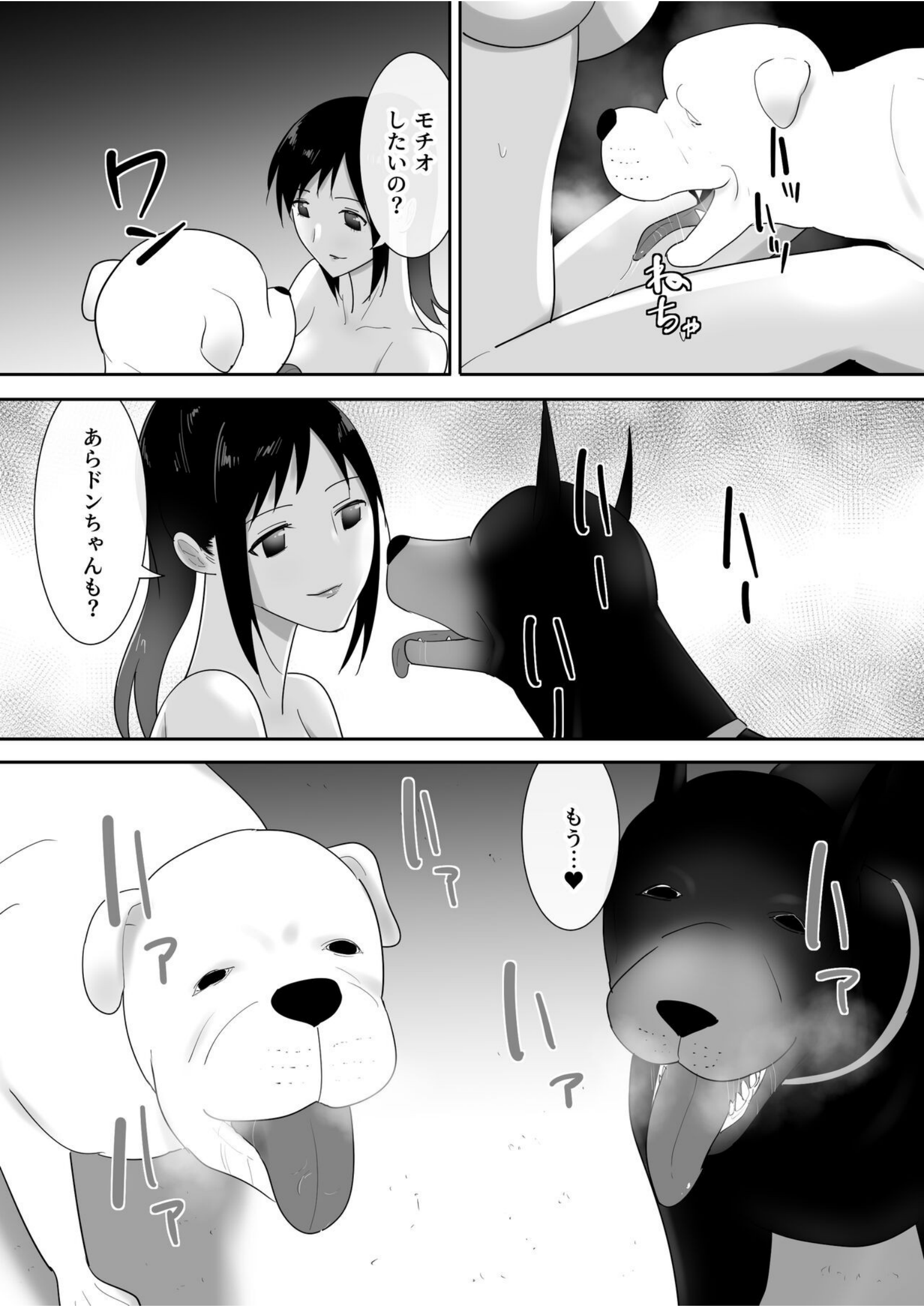

まずはドンちゃんから来たわね
ぺろ
フッ
フッ
ちゅぷ

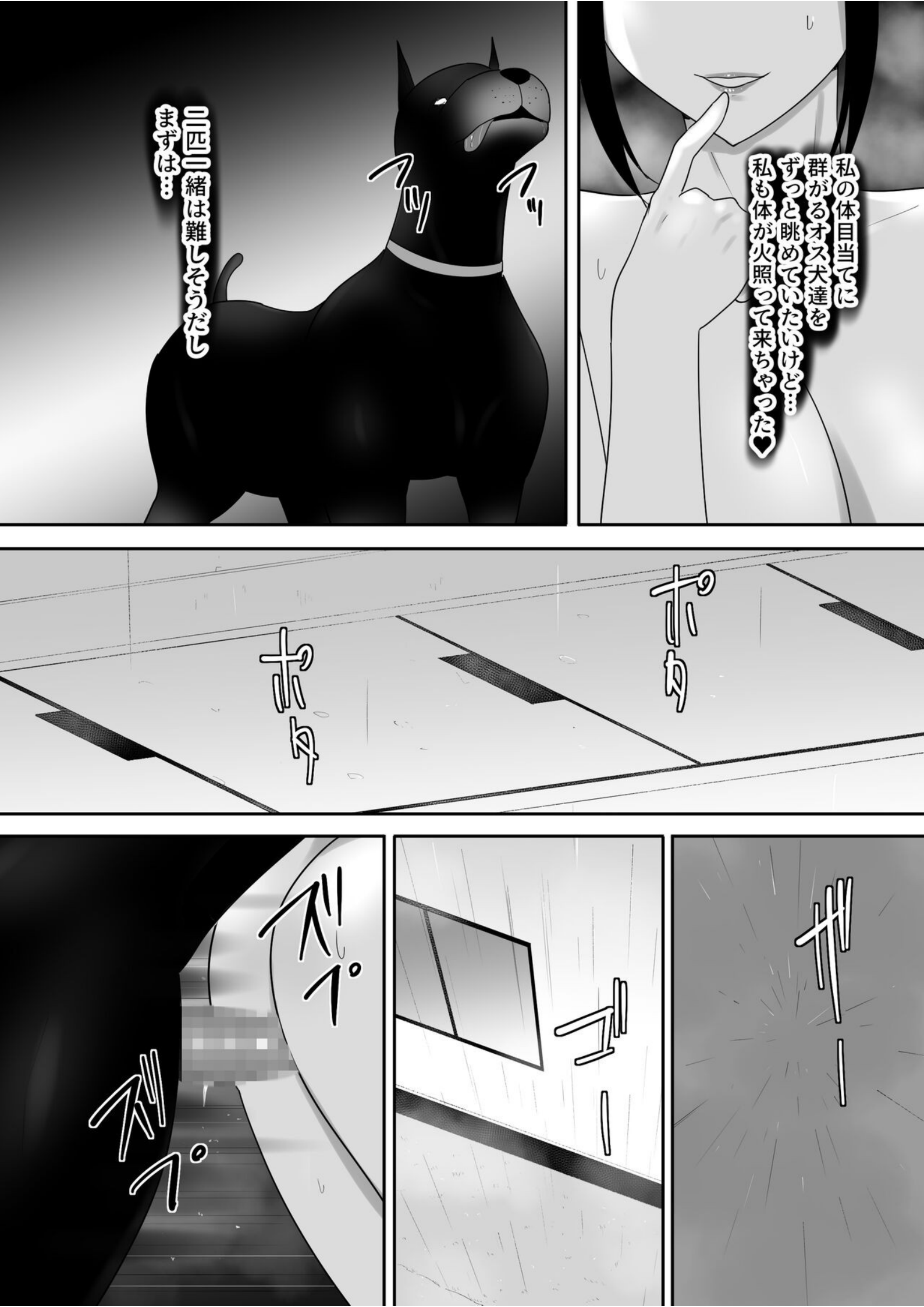
ぺろ
ぺろ
モチオ…
スッ

久しぶりのドンちゃんの味…
ハッ
ハッ
ぺろ
ぺろ
ぺろ

ハァハァハァ
クイッ
そうそうこれこれ
これがやりたかったの♥
はふ
はふ
ペロ
ペロ
ペロ
ペロ
ぴちゅ
ぴちゅ

それにしても
凄い見た目ね
犬とキスして
犬に性器を舐めさせる
人間の女
しかも
どっちの犬とも
交尾済み
なんて惨めなのかしら…
でも不思議
そんな自分の姿を見ていると
どんどん興奮してくる…

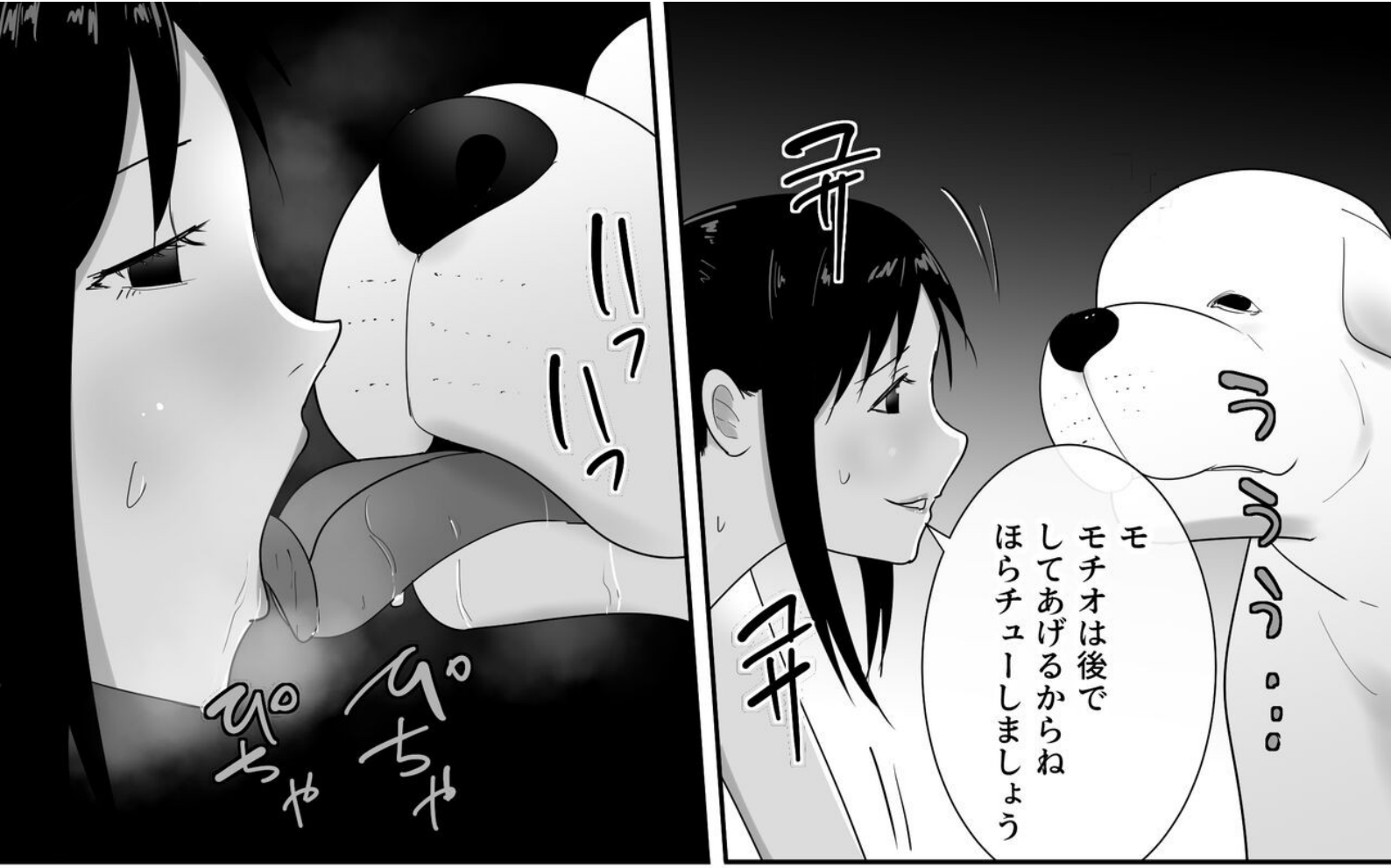

モチオしたいの？
ワン
ハッハッハッ
ぬちゃ
あらドンちゃんも？
ハッハッハッ
もう…♥
ハァハァ
ハァハァ
ハァハァ

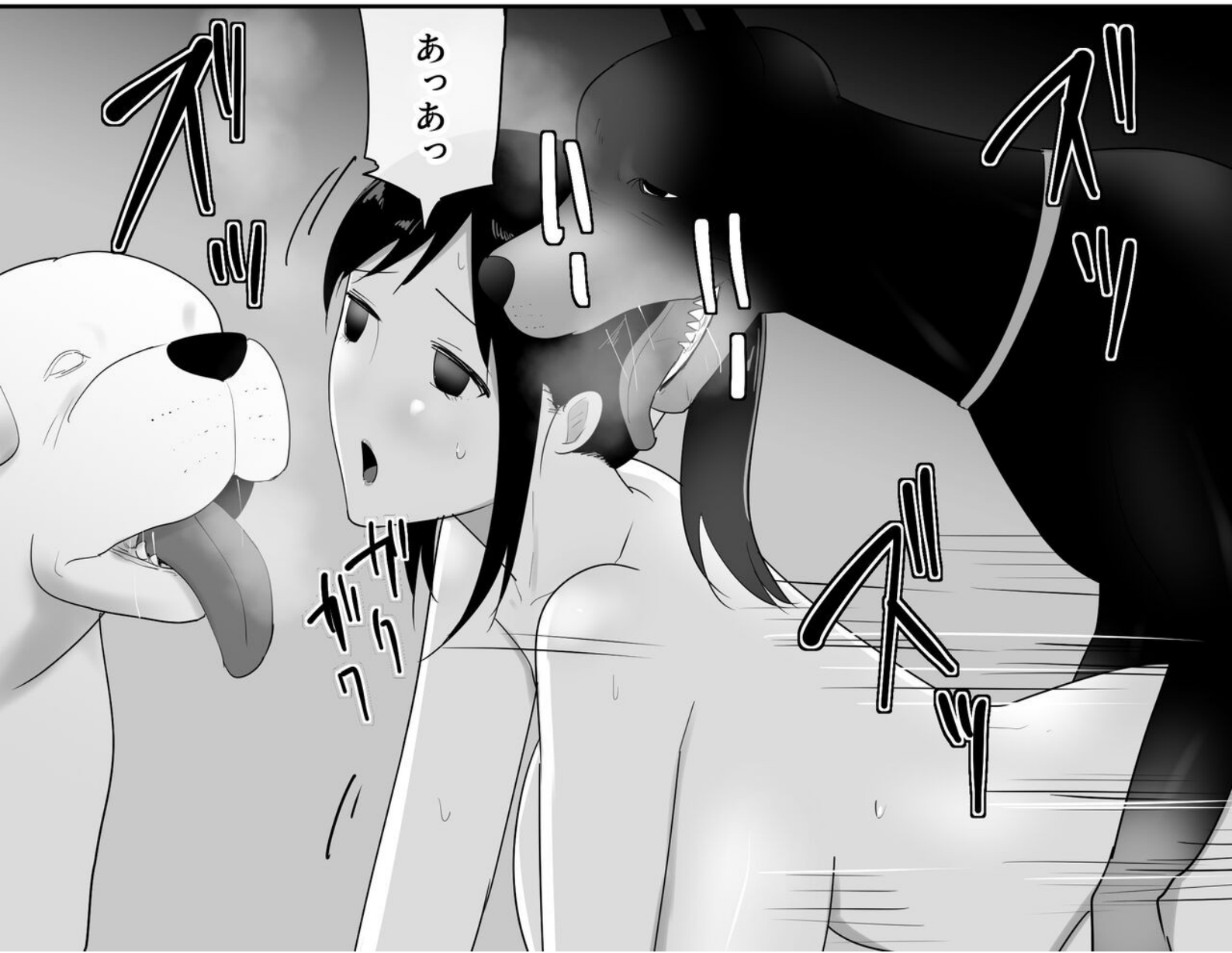

私の体目当てに群がるオス犬達をずっと眺めていたいけど…私も体が火照って来ちゃった♥
二四一緒は難しそうだしまずは…
ポタ
ポタ
ザー
ゴー
ズリ
ズリ

あっあっ
あぁ…!!

ズプ
ズプ
ちゅ
ズプ

あぁ気持ちいい
ドンちゃんいいわ!

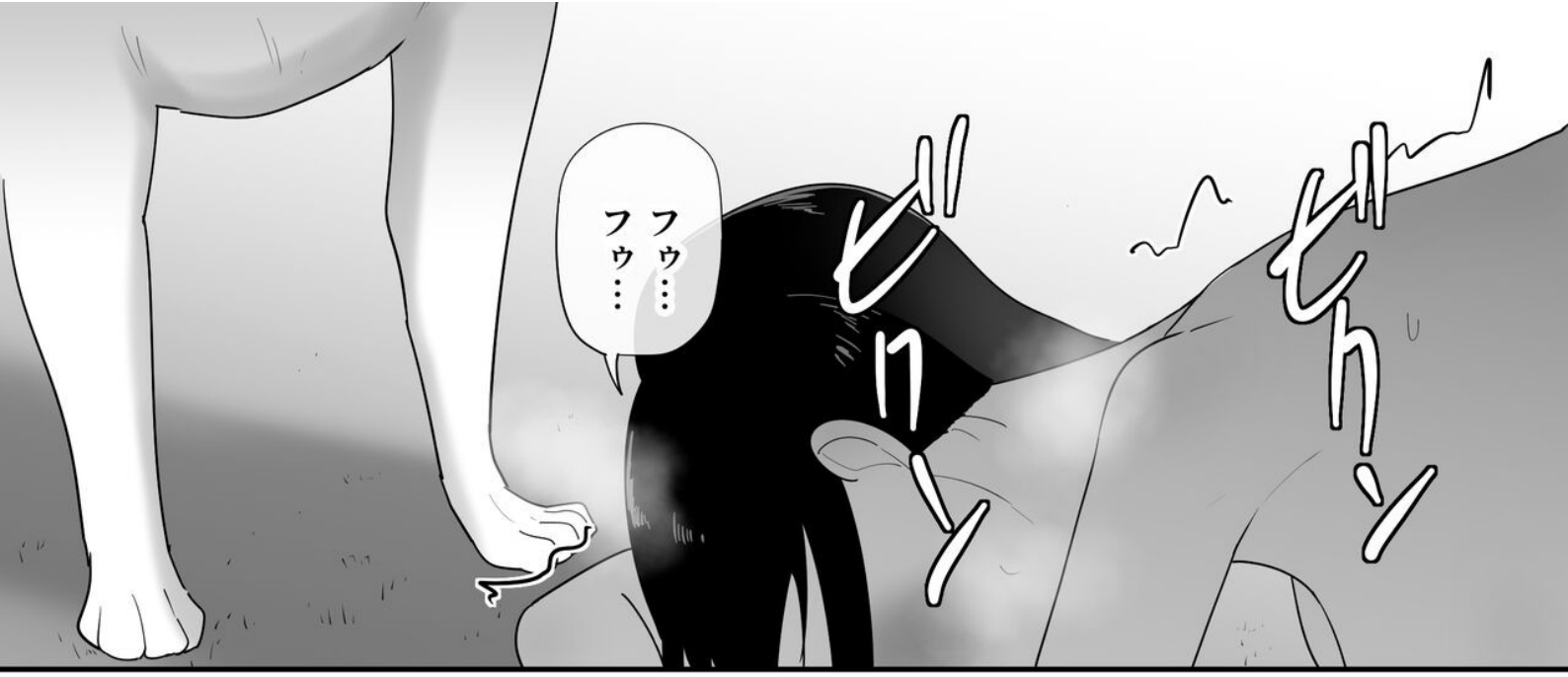

モ
モチオは後で
してあげるからね
ほらチューしましょう
ぴちゃ
ぴちゃ


あっあっ

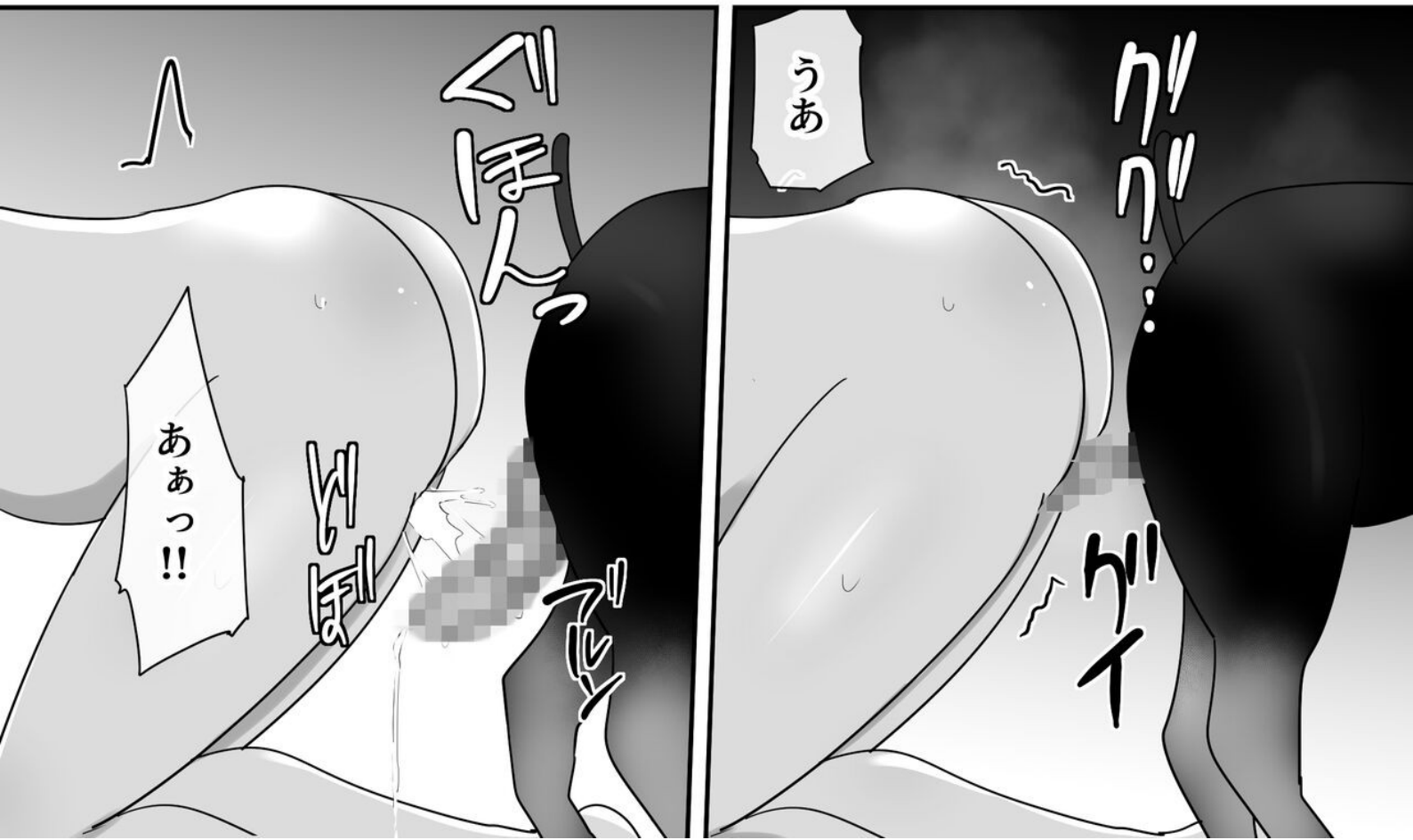
あぁ
なにこれ!?
はぁはぁ
ドンちゃん
すごいぃ…
あっ

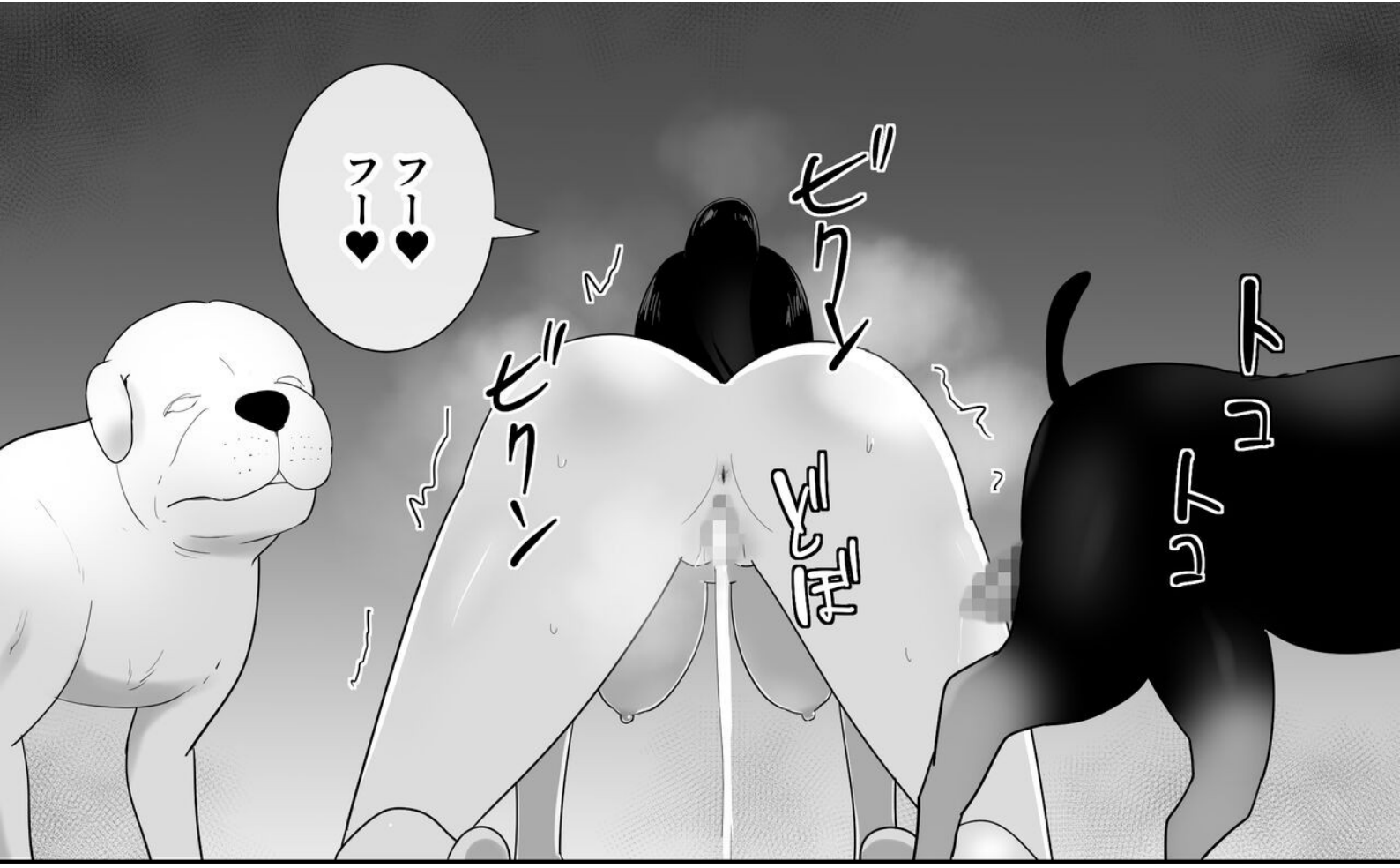
ビキビキ
あぁ！
ドンちゃん！
私に種付けして!!
クルン
ハーハー
ヒクン

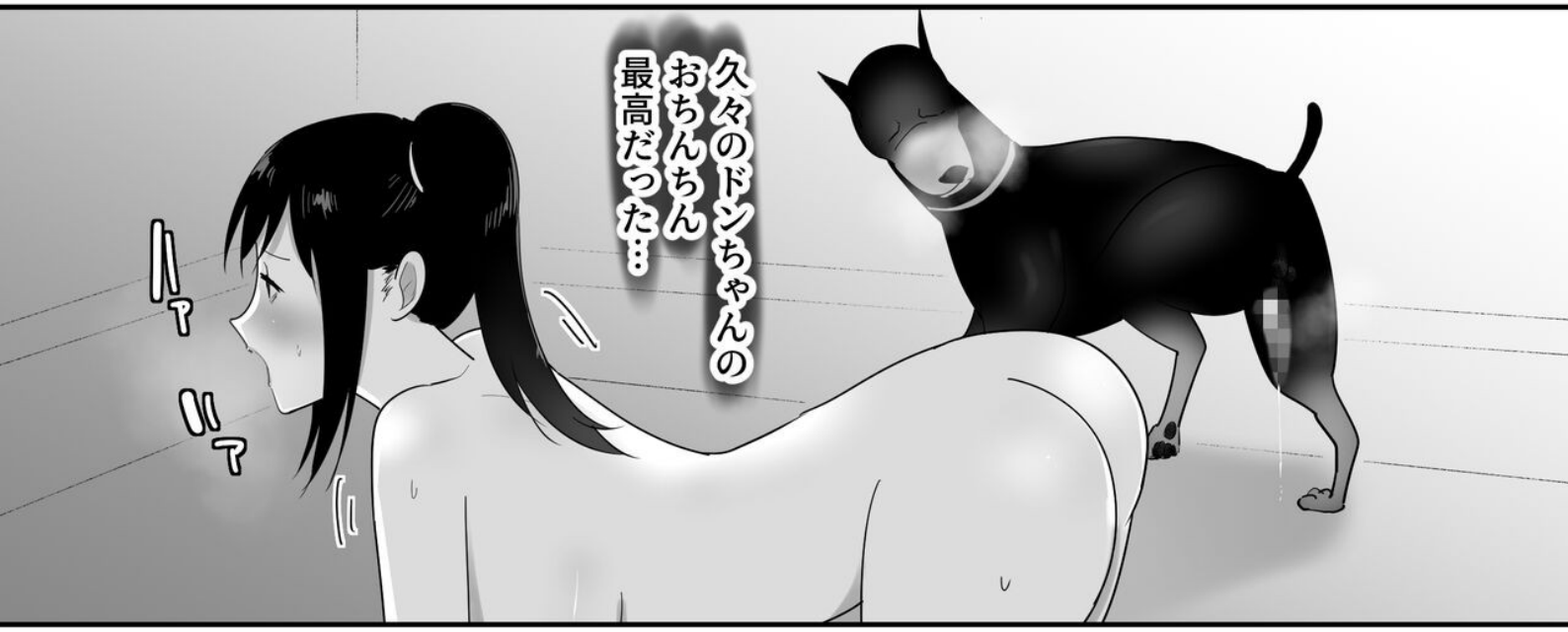
No
비틀비틀
비
ㄱ
ㄱ
ㄱ

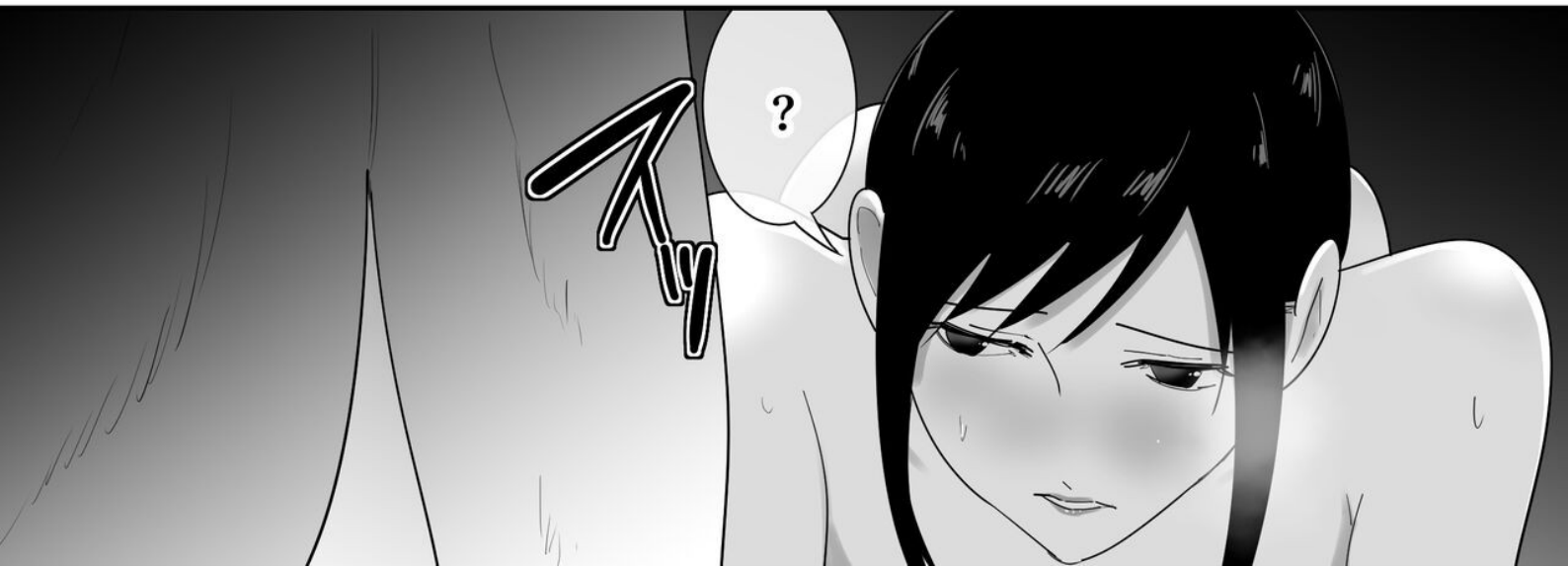

フゥ…
フゥ…
ビクン

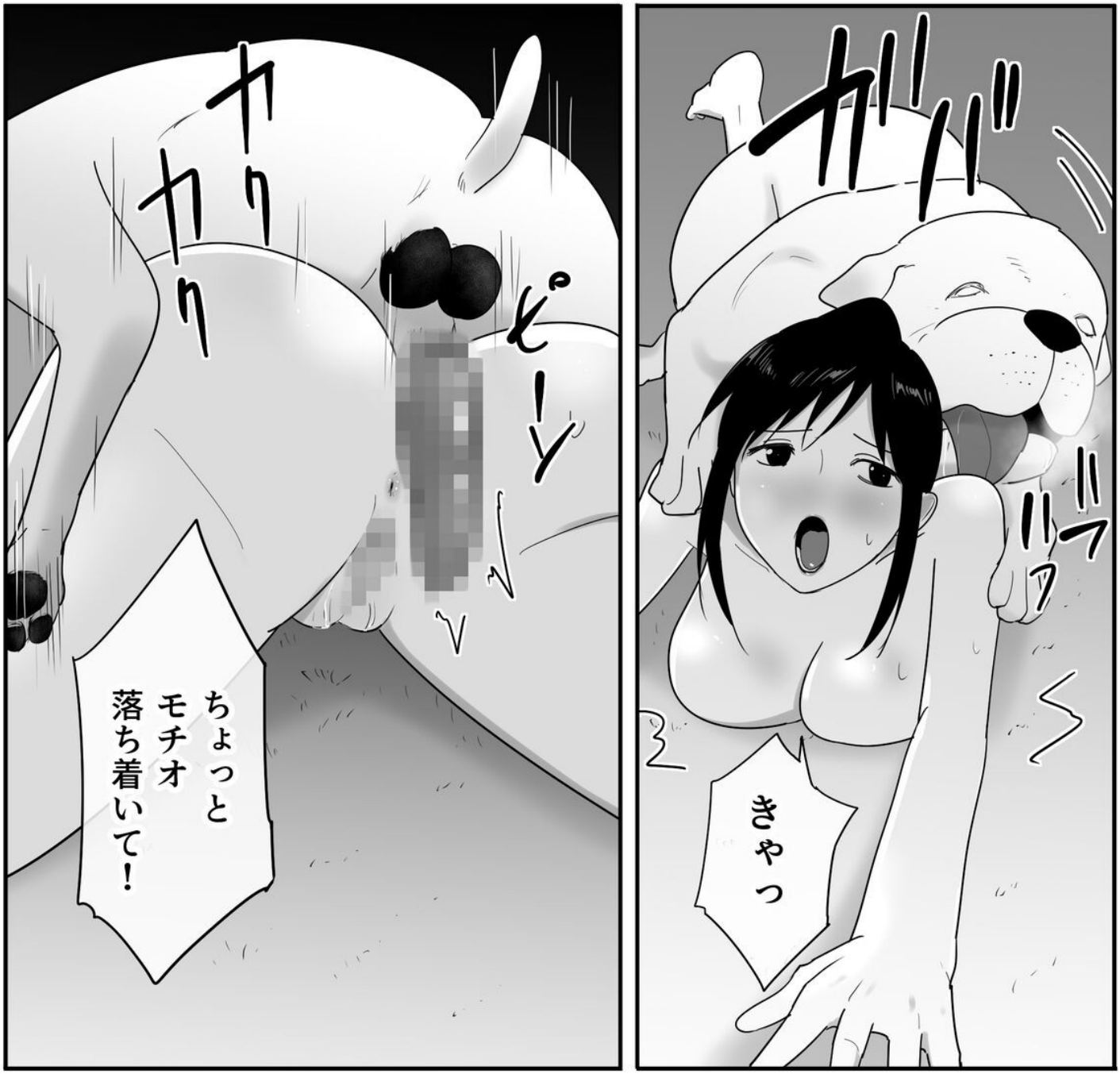
あぁ…
あああぁ…♥

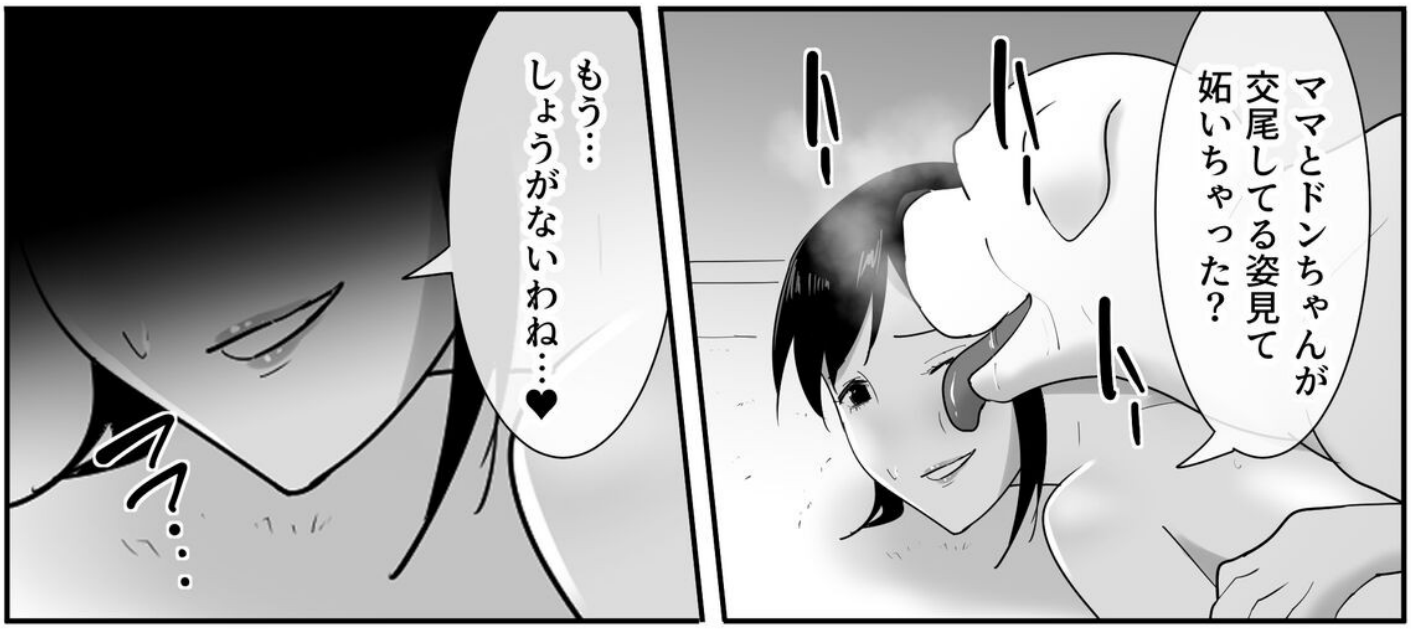

うあ
グッ…
グイ
くぽんっ
あぁっ!!
ぬぽ
ブルン


フー♥
フー♥
ビクン
ビクン
どぼ
トコトコ


久々のドンちゃんのおちんちん最高だった…
ハァハァ

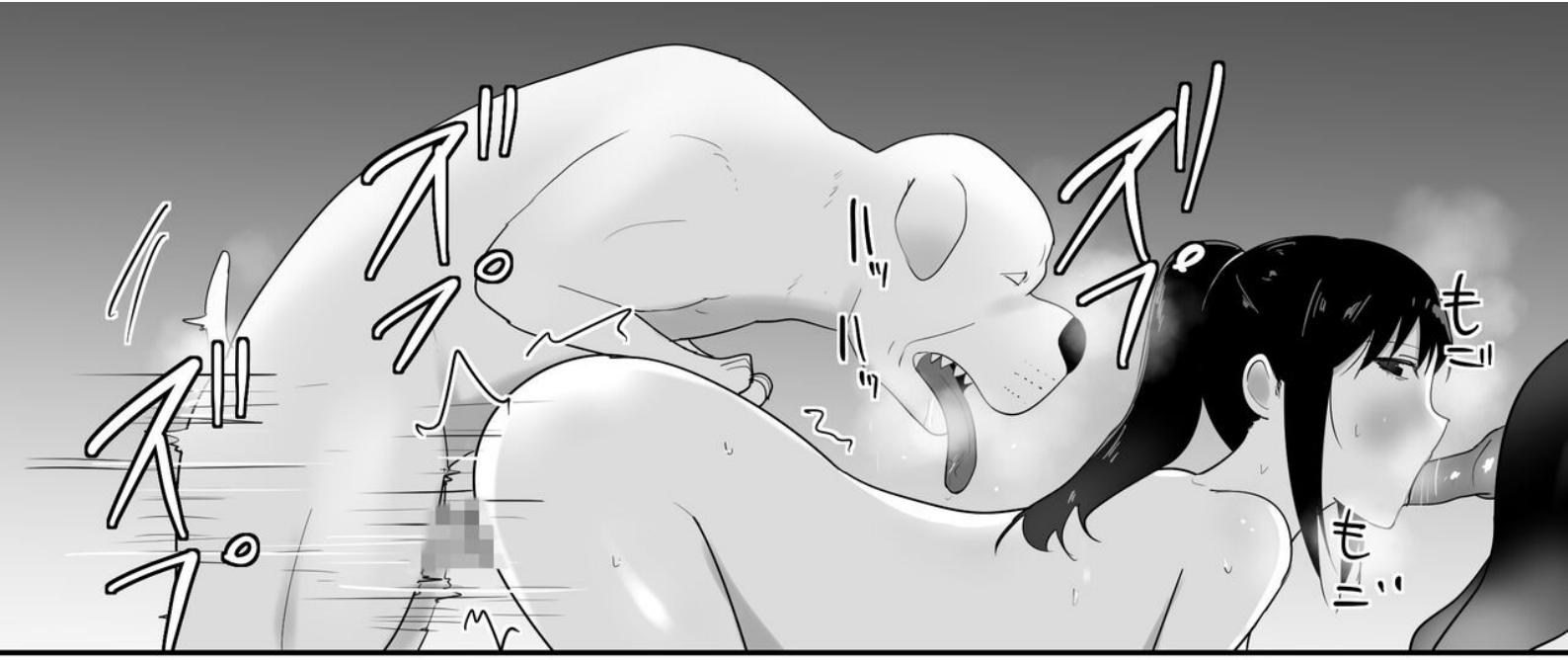

？
スッ

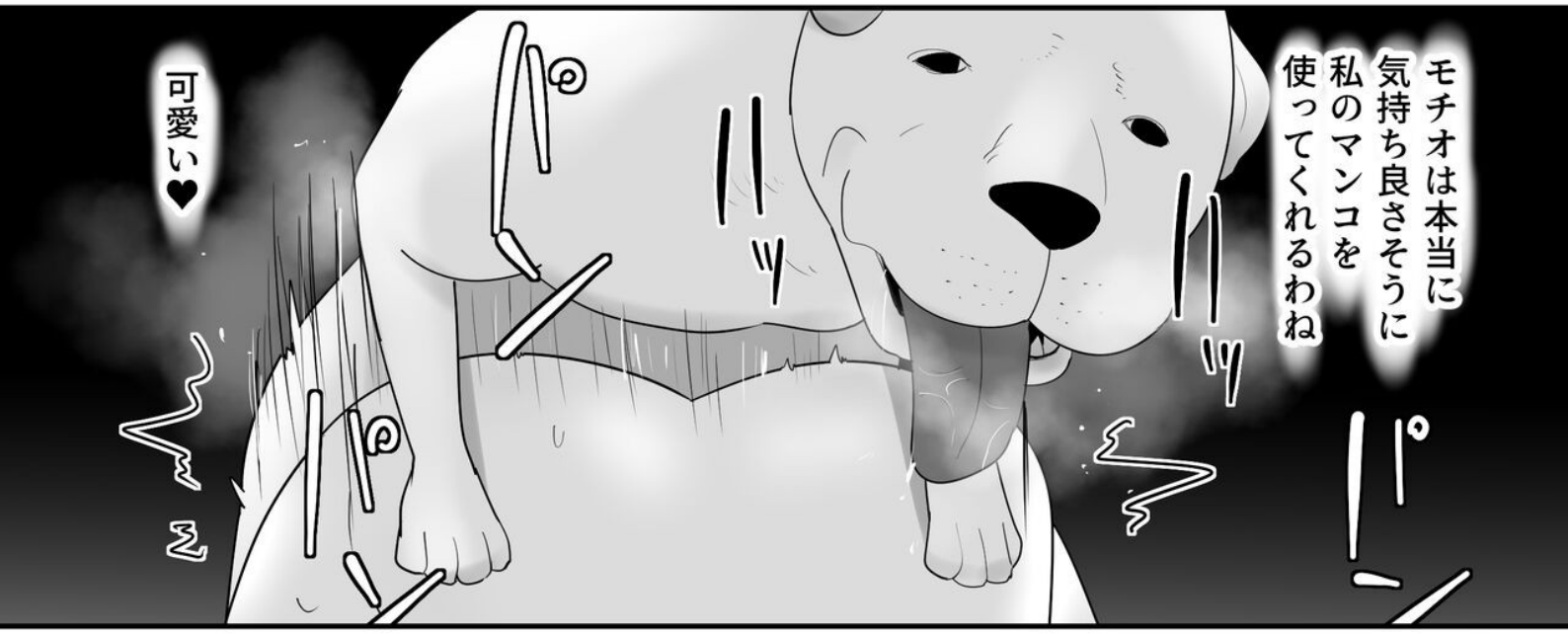

きゃっ
ちょっと
モチオ
落ち着いて！

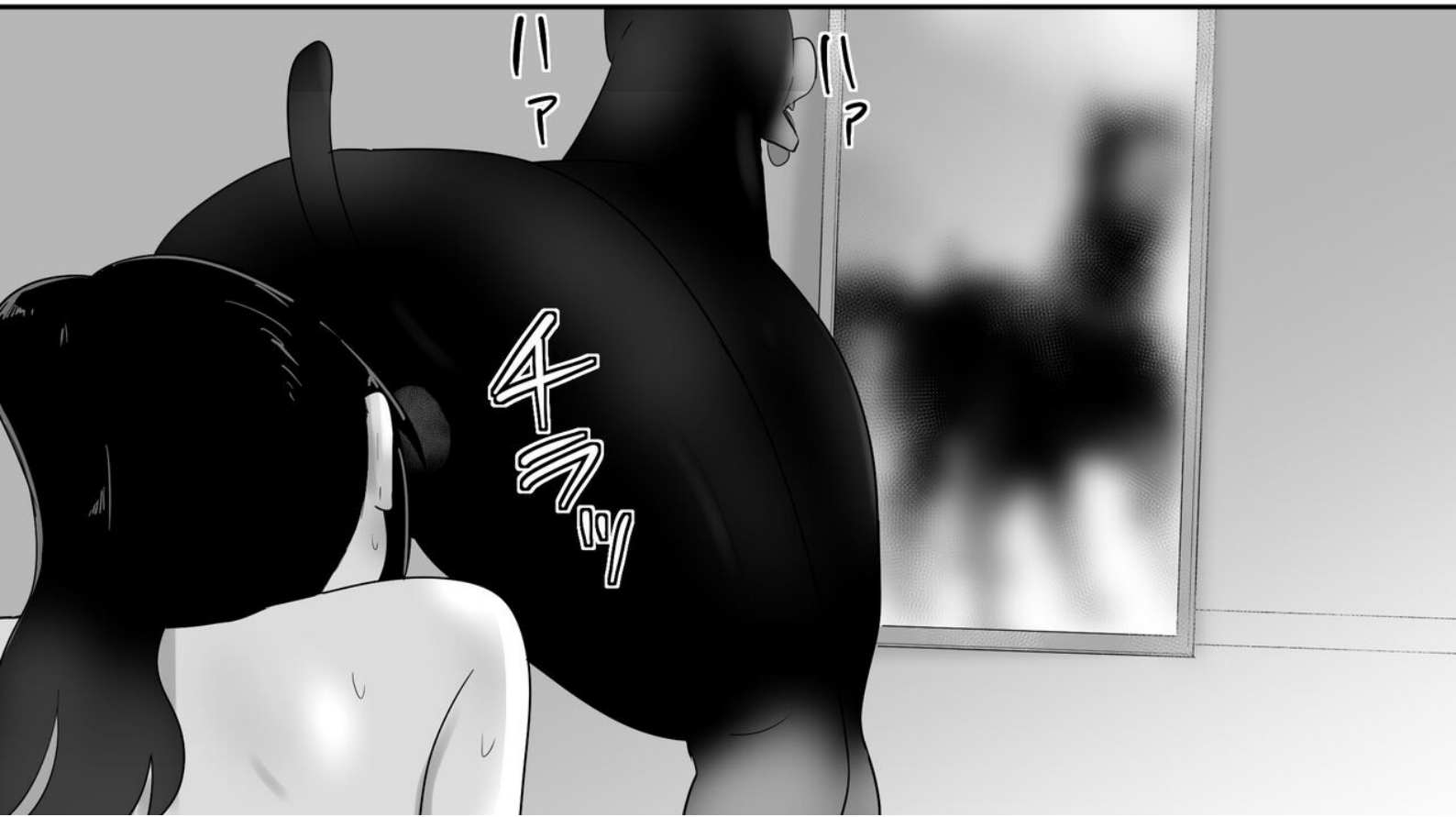

ママとドンちゃんが
交尾してる姿見て
妬いちゃった？
もう…
しょうがないわね…♥

ふー
パシャ
予想外に
仕事が
早く終わったな
それにしても
蒸し暑いなぁ
どこかで休むか？
うーん
いや…帰るか

はぁはぁ
はむはむ
バチュバチュ
バチュバチュ
んふ…ふ…
パン
パン
パン


もご
もニ

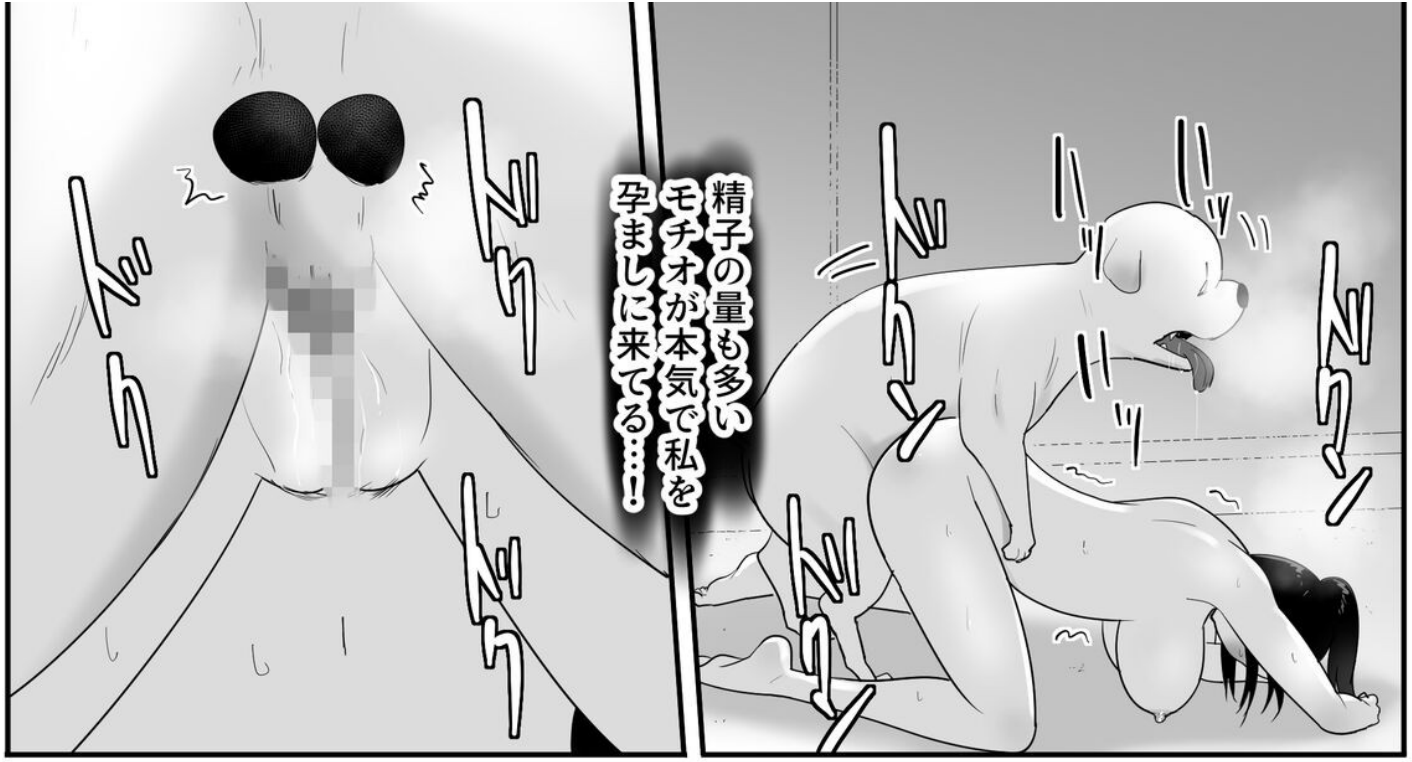

モチオは本当に
気持ち良さそうに
私のマンコを
使ってくれるわね
可愛い♥

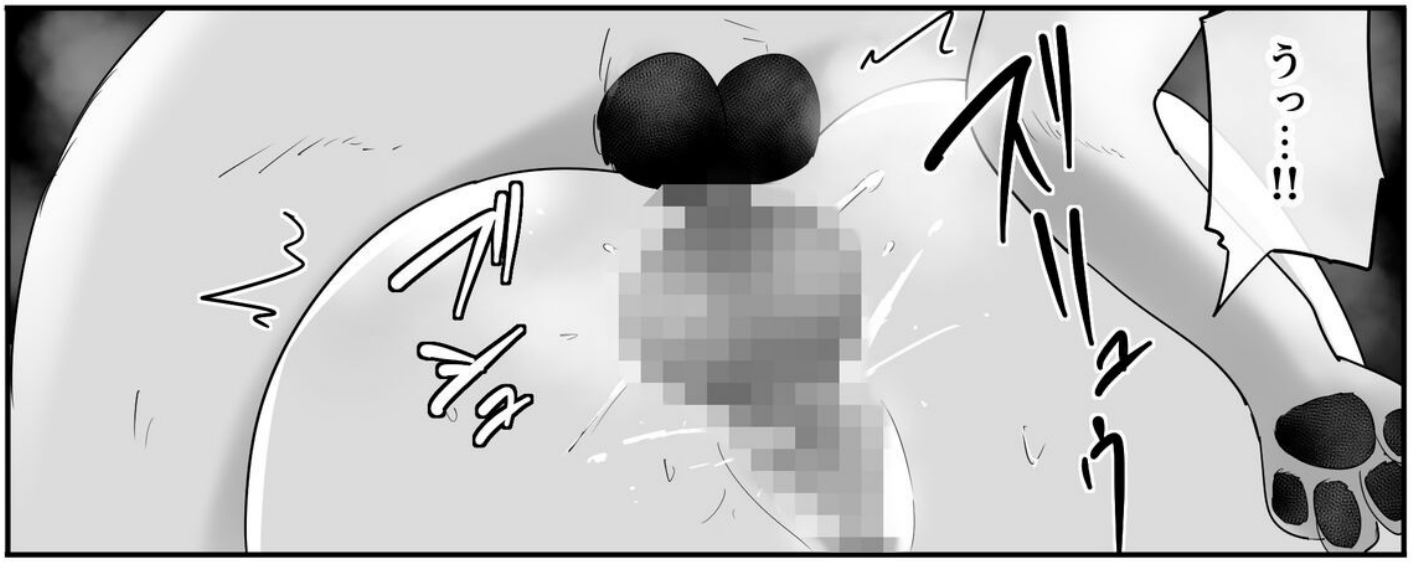


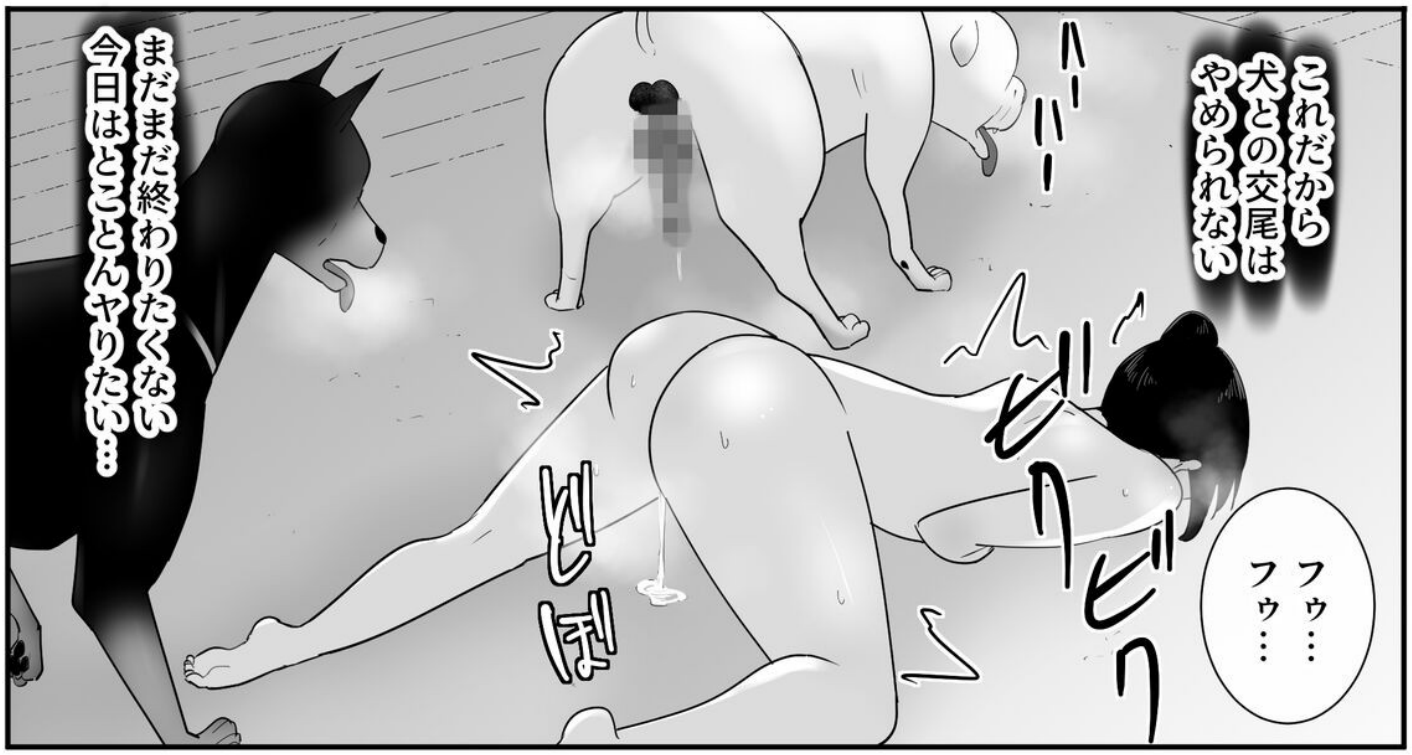
なんて
破滅的な光景なのかしら…
本物のメス犬でも
こんな淫乱なことしないわよね…
だって仕方ないじゃない
口で…子宮で…
犬のおちんちんを感じると
幸せになるんだから…
くちゅ
あむ
あむ
ヌチ
ヌチ

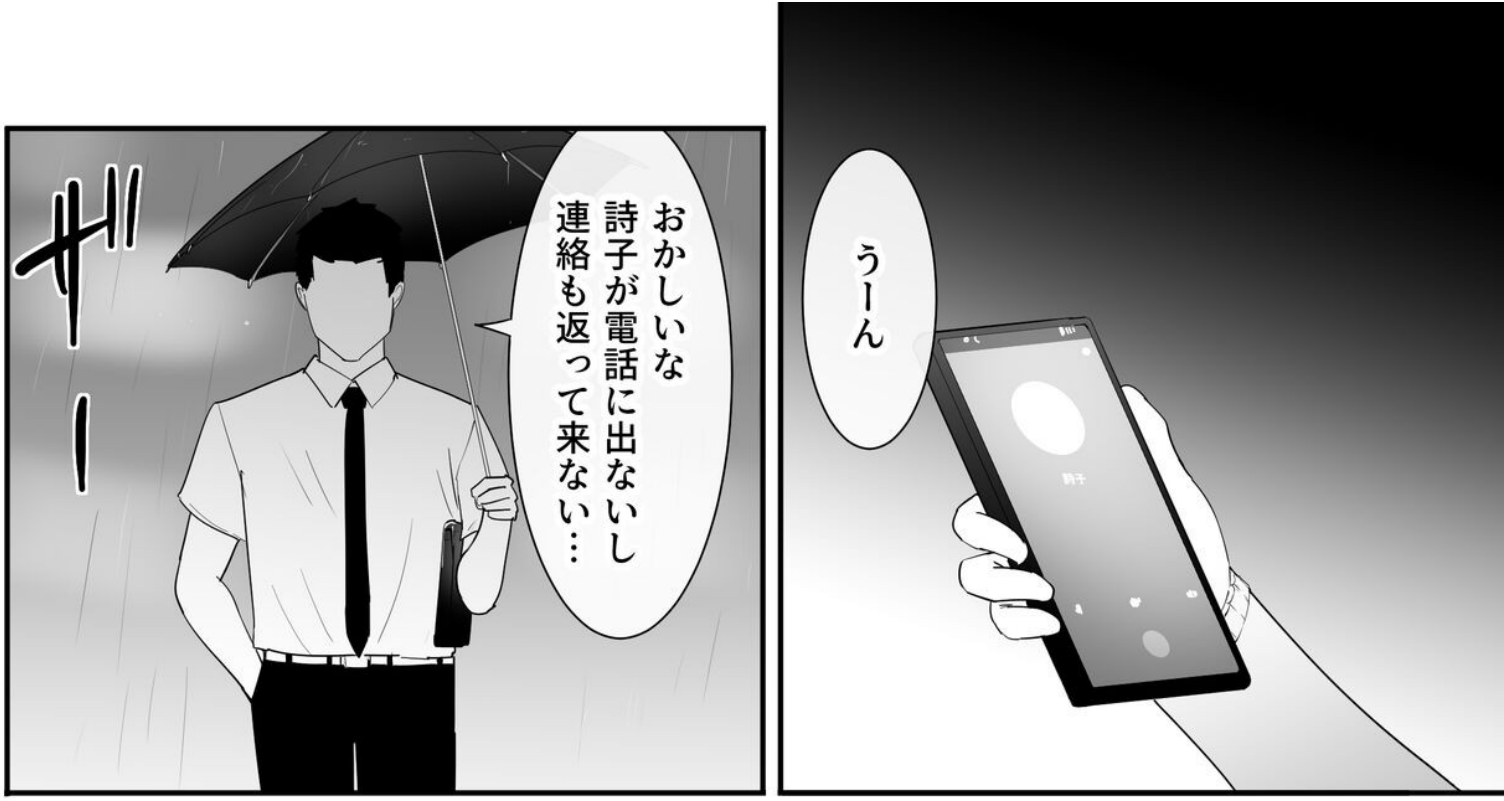
んっんっ
ゴッサ
ゴッサ
うっ
ピト
ピト
あ
来る…
ゴゴゴゴ…
え？

なにこれ
今までにないぐらい
モチオのコブが大きくなってる
お…
おおっ…
気持ちいい所が
刺激されちゃう…!!
ふあああああ!!


精子の量も多い
モチオが本気で私を
孕ましに来てる…!!


うっ…!!

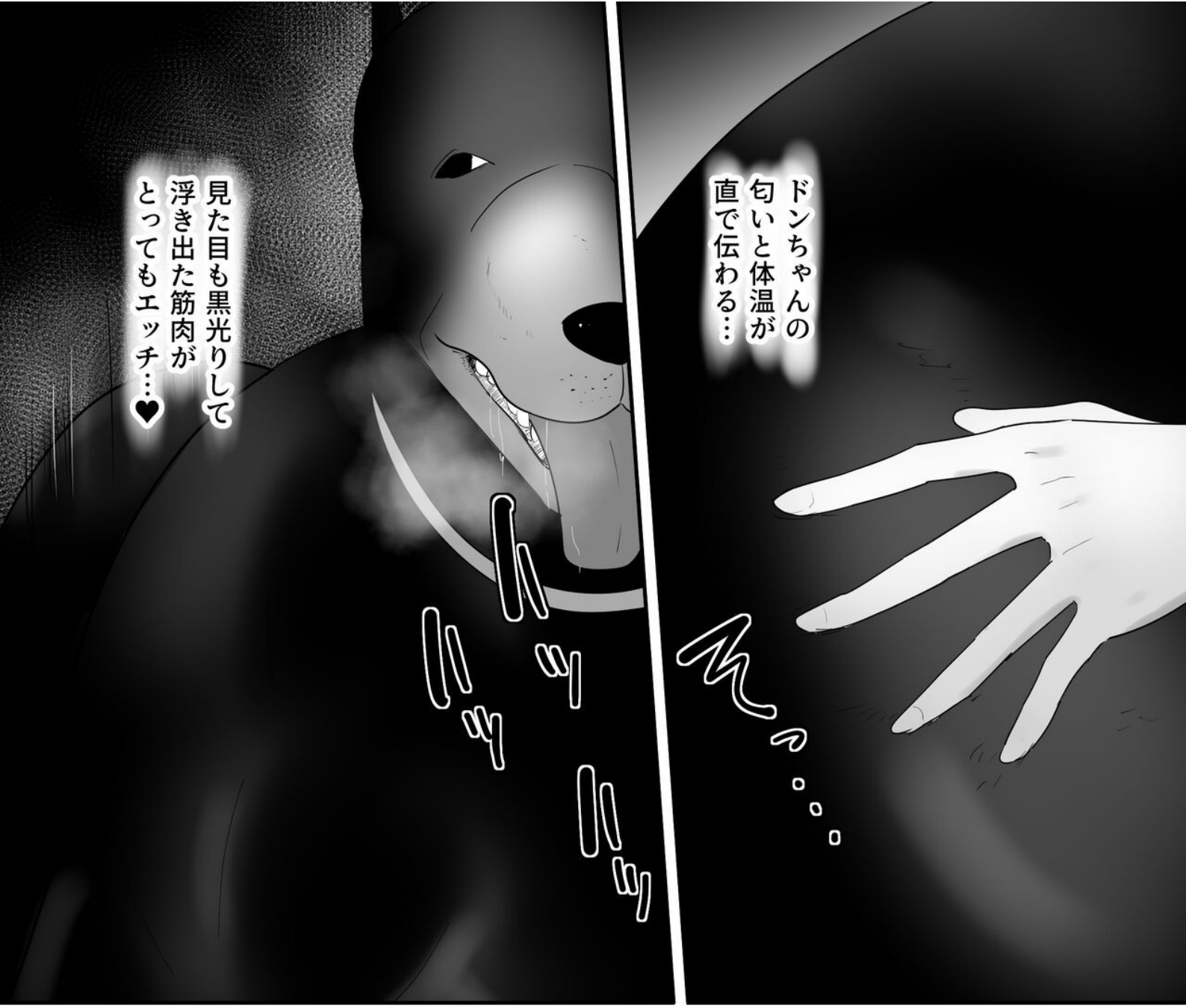

これだから
犬との交尾は
やめられない
まだまだ終わりたくない
今日はとことんヤりたい…
フゥ…
フゥ…


うーん
おかしいな
詩子が電話に出ないし
連絡も返って来ない…

……
まさかと思うけど…
俺の知らない間に
他の男と連絡してたり
してるのか？
お
男と連絡!?
フ…フフッ
そんなことするわけ
ないじゃないですか
心配し過ぎですよ
そ…そうか

ゴクッ…

パン
パン
ズズ
あっあっ
ズズ
ズズ
パン
ハッハッ
パン
パン
あぁ…あぁ…
あぁ！
いいっ！
バチュ
バチュ
バチュ
この体位
良い…

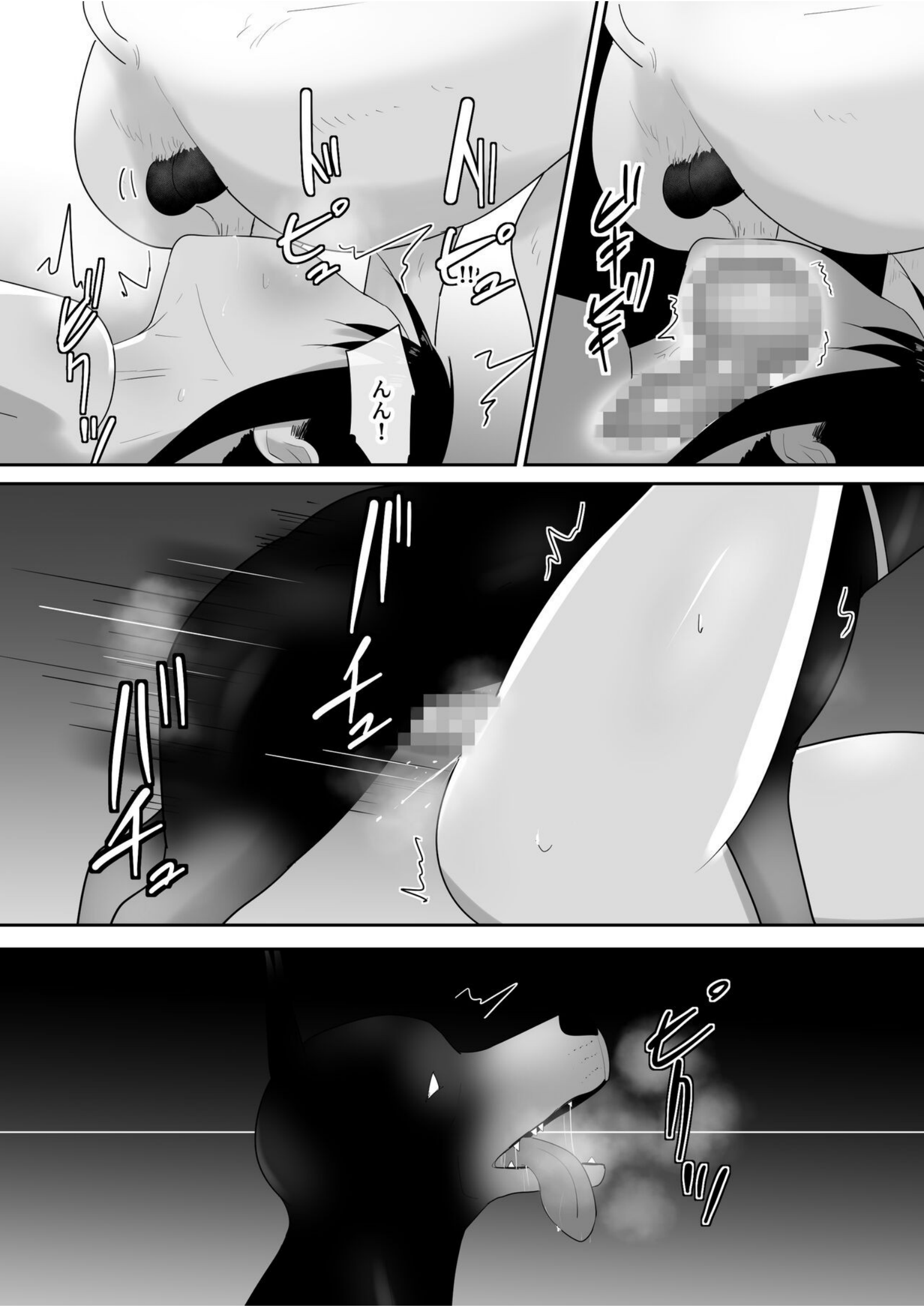

ドンちゃんの
匂いと体温が
直で伝わる…
ハッ
ハッ
ハッ
ん…。。。
見た目も黒光りして
浮き出た筋肉が
とってもエッチ…♥

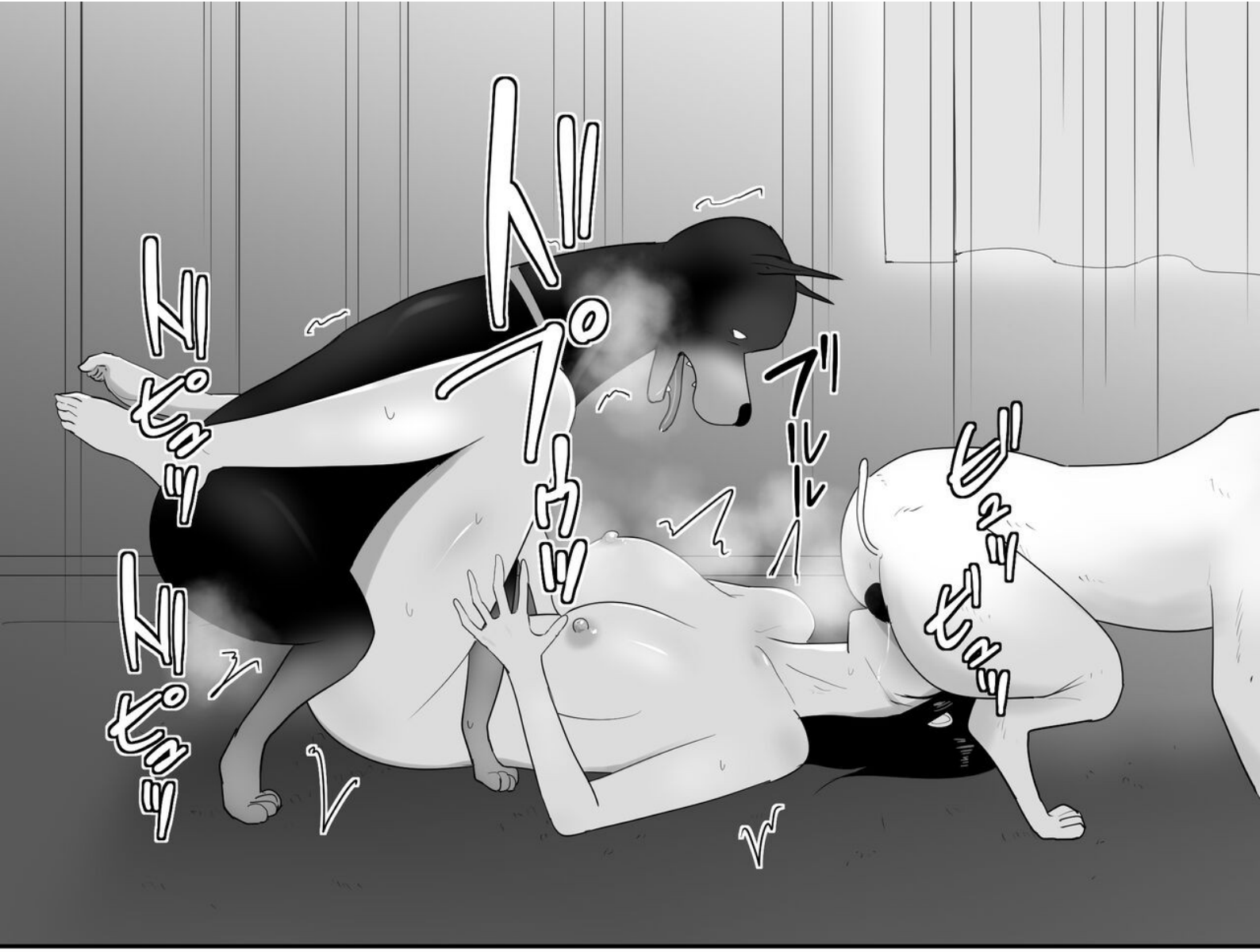
フフ
モチオこっち
見てる
さっきみたいに
妬かせたら
また激しい交尾してくれるかしら
ごめんねモチオ
性格の悪いママで…

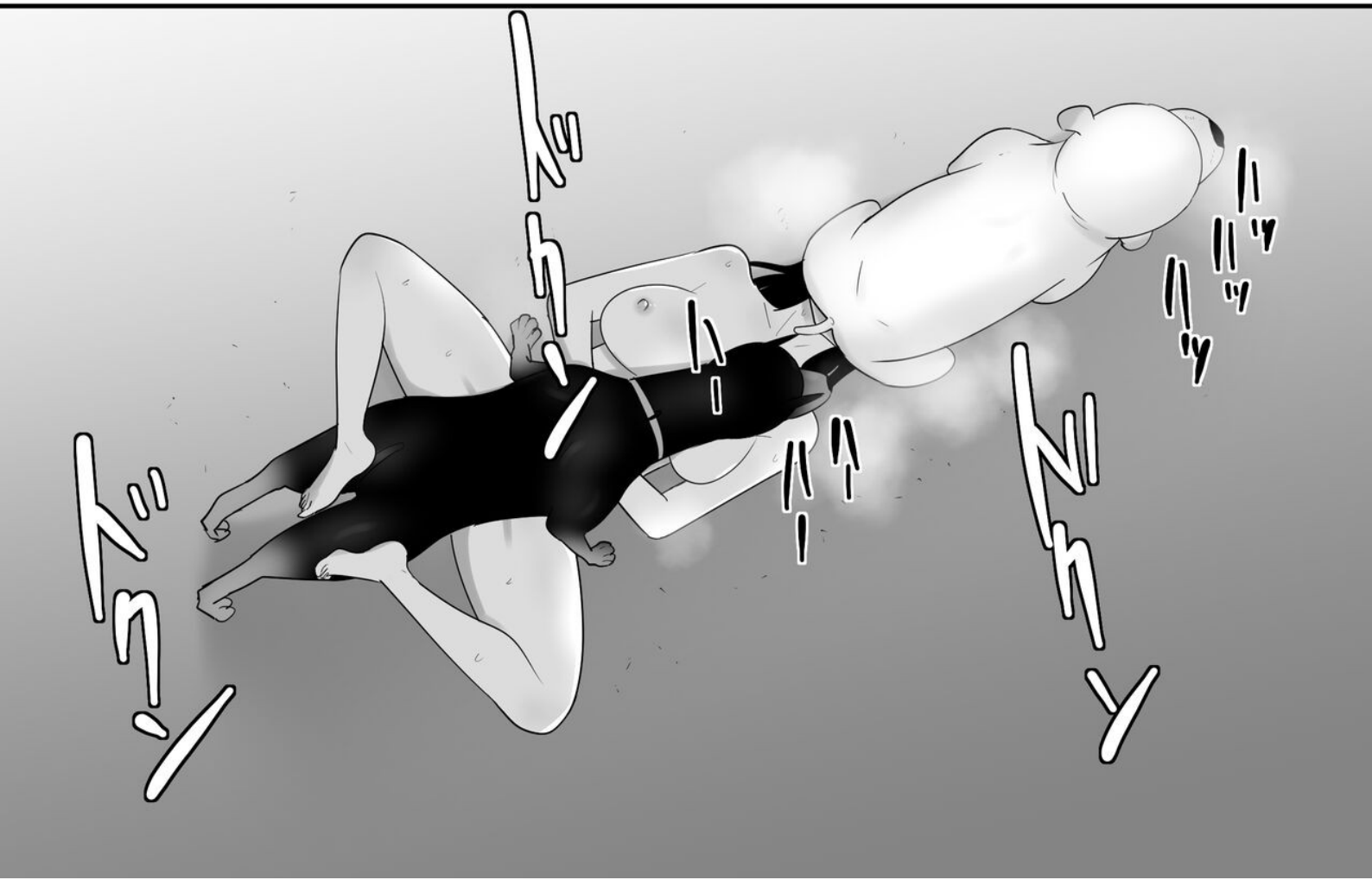
クイッ
スッ
ハッ ハッ
え
ちょっと
待って！
後で
舐めてあげるから
今押し付けないで！
ズズリ…
ぐらん
グブブ…
ゴボ
んんん！
んんんん！

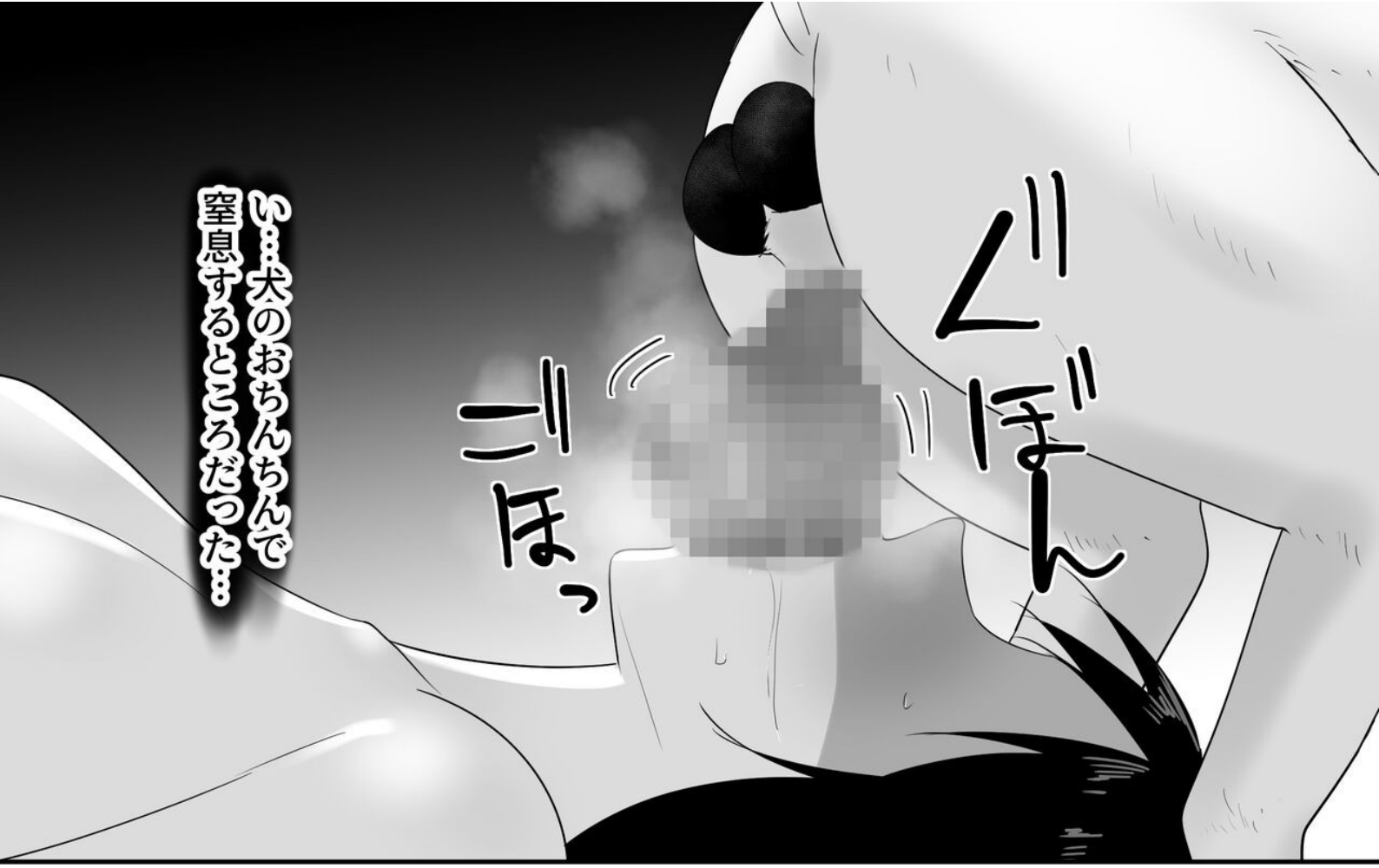
んんっ…!!

おちんちんが
喉の奥まで…
いくら私でもこれでは
息が…
むー!!
んんおー!

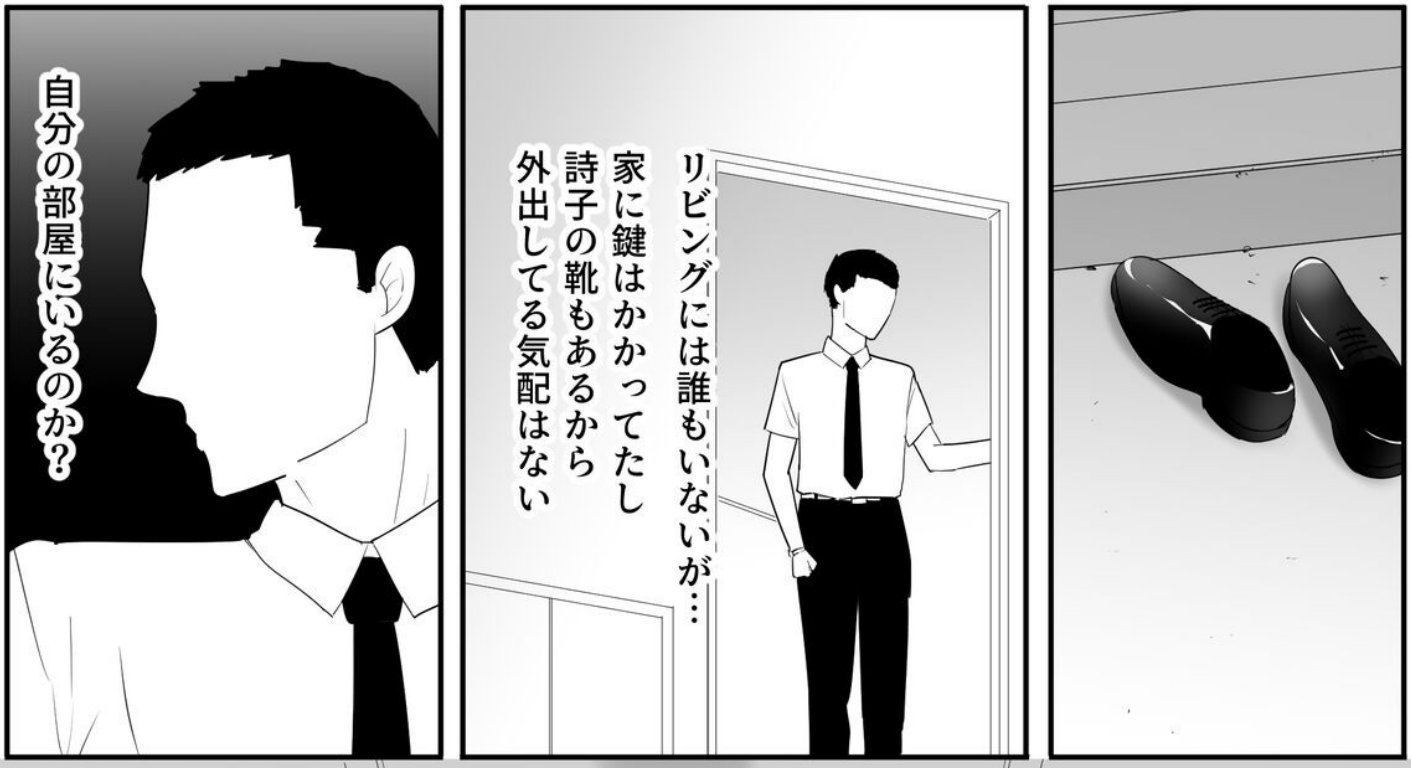

んん！

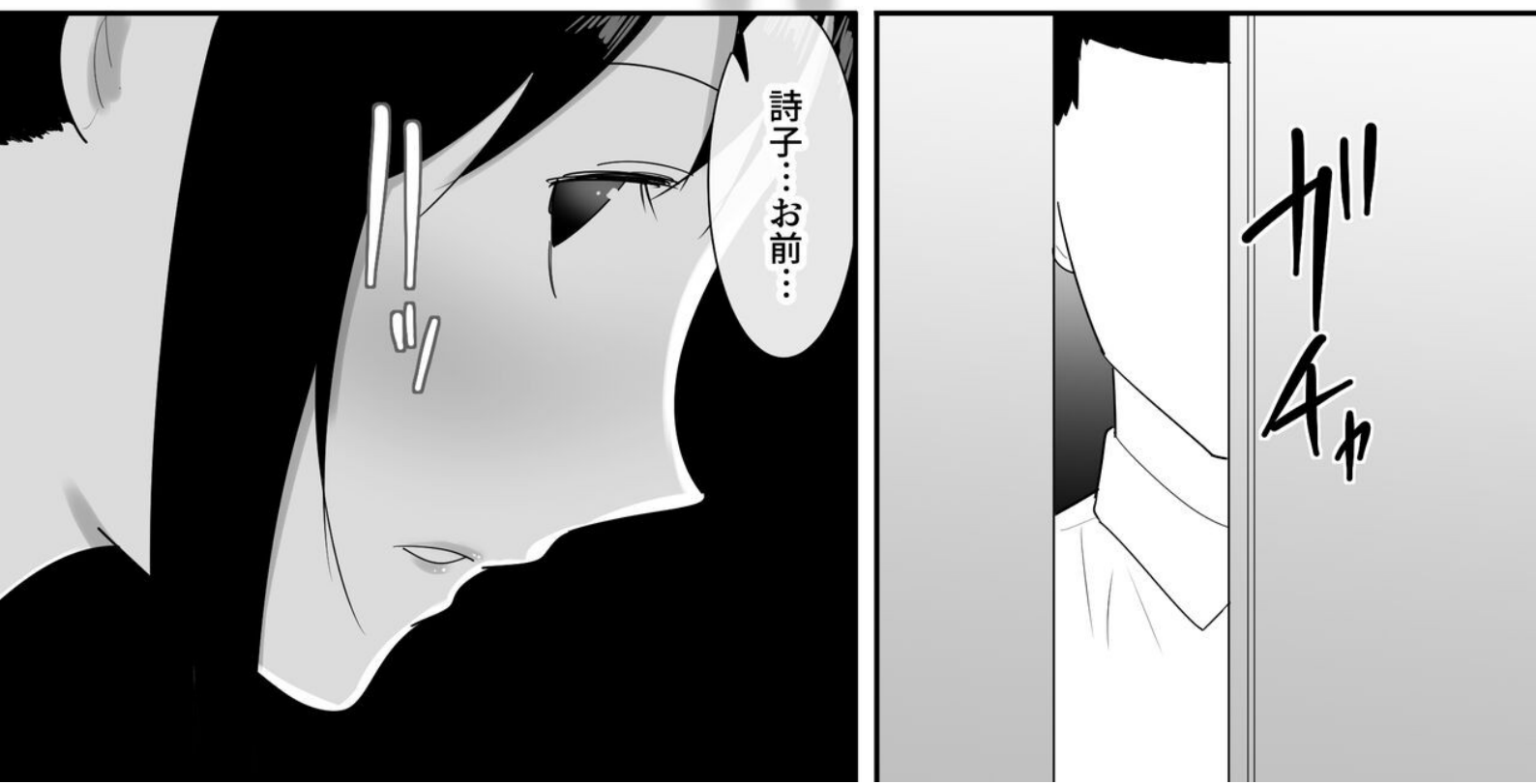





ぐぼん
ぐぼっ
い…犬のおちんちんで窒息するところだった…

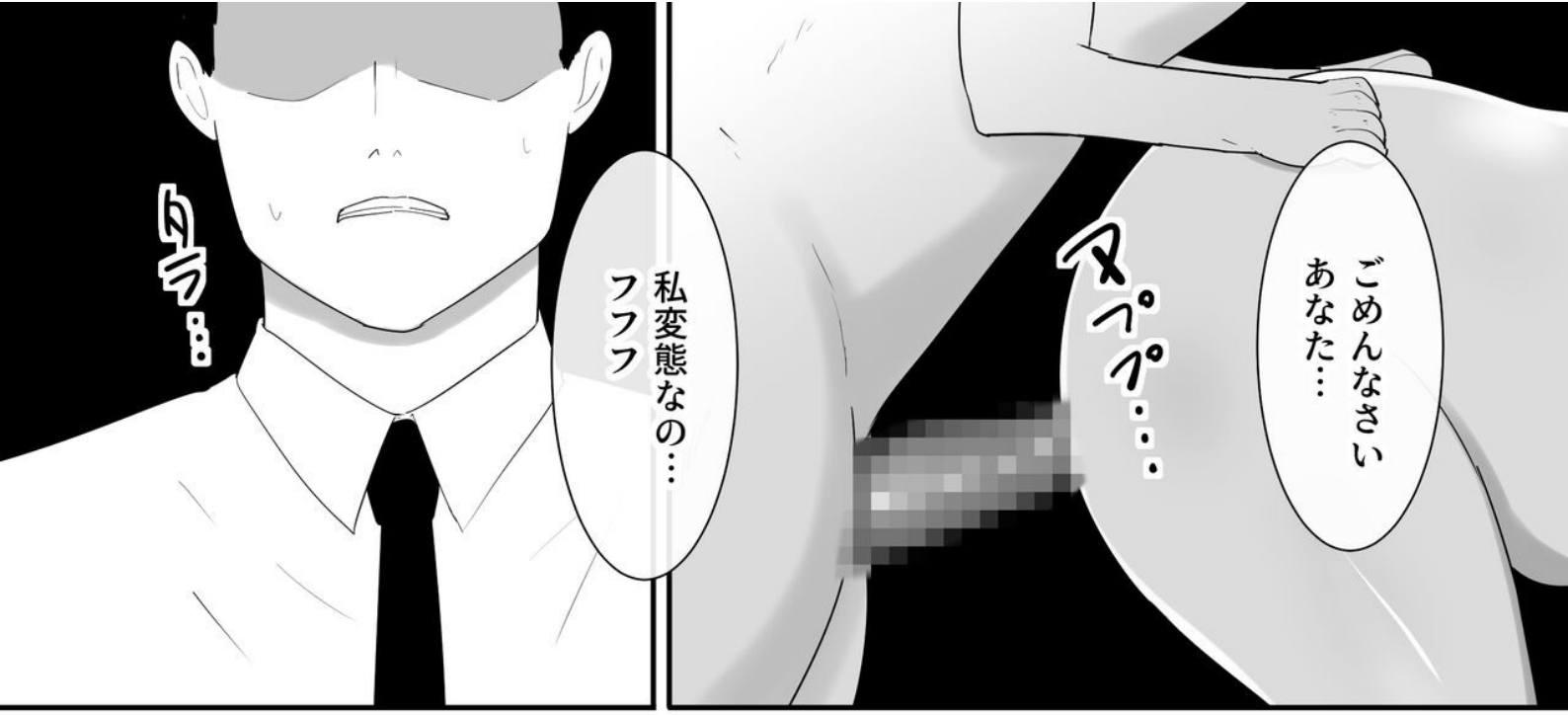
でも体の中が犬の精子で満たされた…
なんて甘美なんだろう…
はっ
はっ
ぶぉぉ


はぁ…
あいつのこと
放っておきすぎたかもな
リビングには誰もいないが…
家に鍵はかかってたし
詩子の靴もあるから
外出してる気配はない
自分の部屋にいるのか？


そういや
最近セックスもしてない
ガチャ
詩子…お前…

あら？
もう
帰ってきたんですか？
あなた
モファ…

グルルル
ハッ ハッ ハッ
ビン
ビン
ついに
見つかっちゃったわね


ごめんなさい
あなた…
ヌププ…
私変態なの…
フフフ
ウッ…

ﾌｯ

あ
起きました？
ﾊﾟｰﾝ

突然倒れたから
びっくりしたわ
熱中症だったのかしら
熱中症…？
凄いうなされてたわよ
悪い夢でも
見てたの？
夢…
詩子が…モチオと…
私が？
モチオと？
いや…
そんなわけないよな
そうか夢か…
夢だよな…
…私
水持ってきますね
あぁ
すまない

良かった
本当に夢だと
思ったみたい
ゴクゴク
次見つかったら
誤魔化せないだろうなぁ
犬と人間の
セックスなんて
常人には考えられない
異常な行為だろうし
無意識に脳が
現実を拒絶
しちゃったのかな…
フフ
でも
そんなこと
言っても
やめられるわけないわ
だって
それが私の
本性だし

今後も
よろしくね
ふたりとも
終わり

『我が家にペットがやってきた』シリーズを
ここまで読んでいただいてありがとうございました。

元々単発の作品として考えていた本作でしたが、
続編を望む皆様の声のお陰で
何とかここまで続けることが出来ました。

とは言え私の力不足のせいで
展開がマンネリ気味になったり、
細かなミス(結婚指輪を書き忘れる等)も多く、
皆様のご希望にそった作品になれず
恥ずかしい気持ちでいっぱいです。

詩子の話はここで一旦終わりですが。
このジャンルの作品はまだまだ描き続けていきますので、
どうか当サークル[フレイア]を今後ともよろしくお願いします。